

パラグアイ青果物流通改善計画 巡回指導調査団報告書

平成 5 年 9 月
(1993年12月)

国際協力事業団

パラグアイ青果物流通改善計画巡回指導調査団報告書

平成五年九月（一九九三年十二月）

国



農開畜

JR

93-55

JICA LIBRARY



1117562171

パラグアイ青果物流通改善計画
巡回指導調査団報告書

平成 5 年 9 月
(1993年12月)

国際協力事業団

国際協力事業団

27171

序 文

国際協力事業団は、パラグアイ国実施機関との討議議事録（R/D）等に基づき、パラグアイ青果物流通改善計画を平成3年3月6日から5か年間の計画で実施しています。

本プロジェクトの協力開始後3年目に当たり、事業の進捗状況及び現状を把握するとともに相手国プロジェクト関係者及び派遣専門家に対し適切な指導と助言を行うことを目的として当事業団は、平成5年8月23日から9月10日まで農林水産省食品流通局野菜振興課野菜専門官・上水流忠氏を団長とする巡回指導調査団を現地に派遣しました。

本報告書は、同調査団によるパラグアイ国政府関係者との協議及び現地調査結果等を取りまとめたものであり、本プロジェクトの円滑な運営のために活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、心より感謝の意を表します。

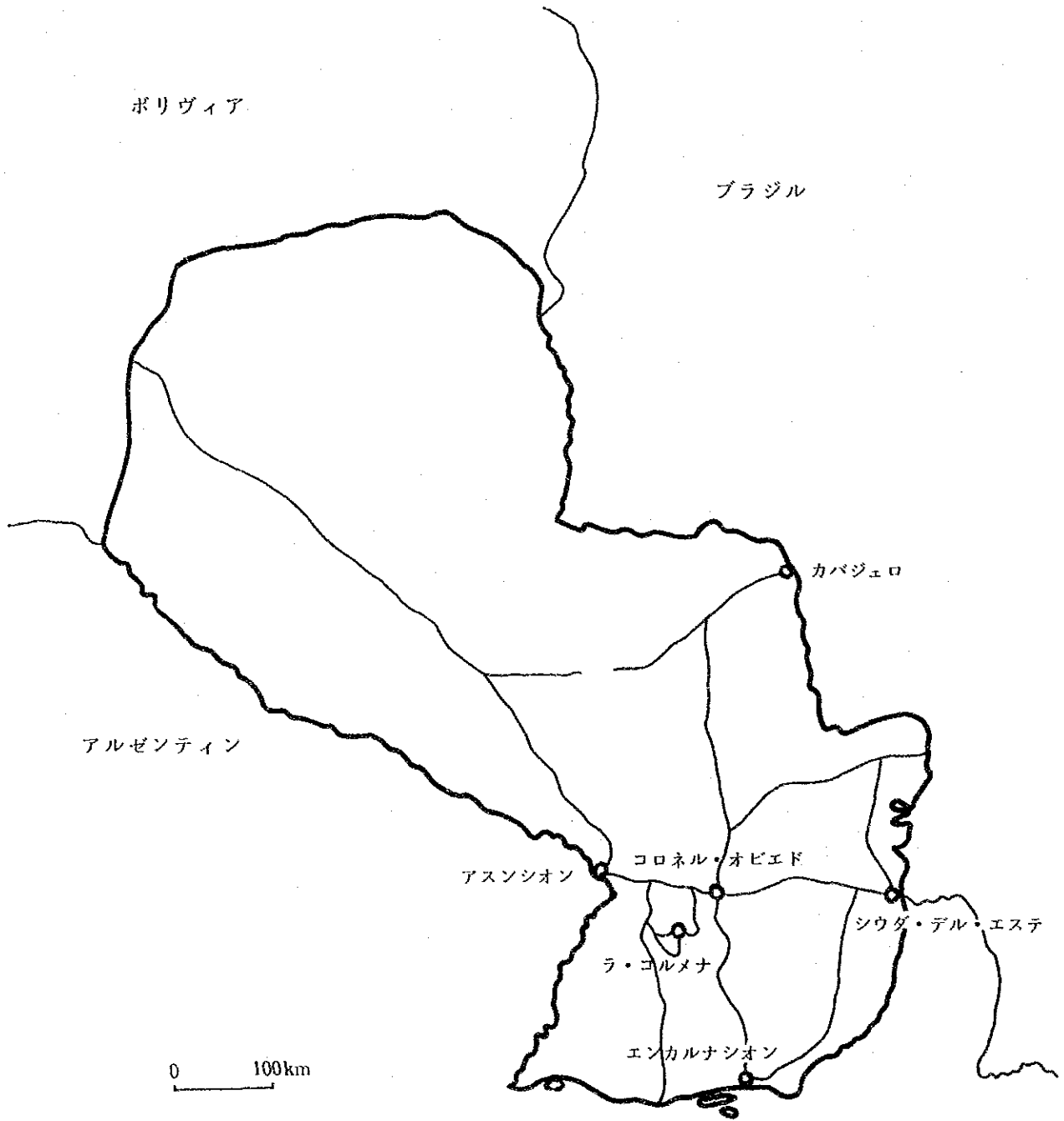
平成5年9月

国際協力事業団

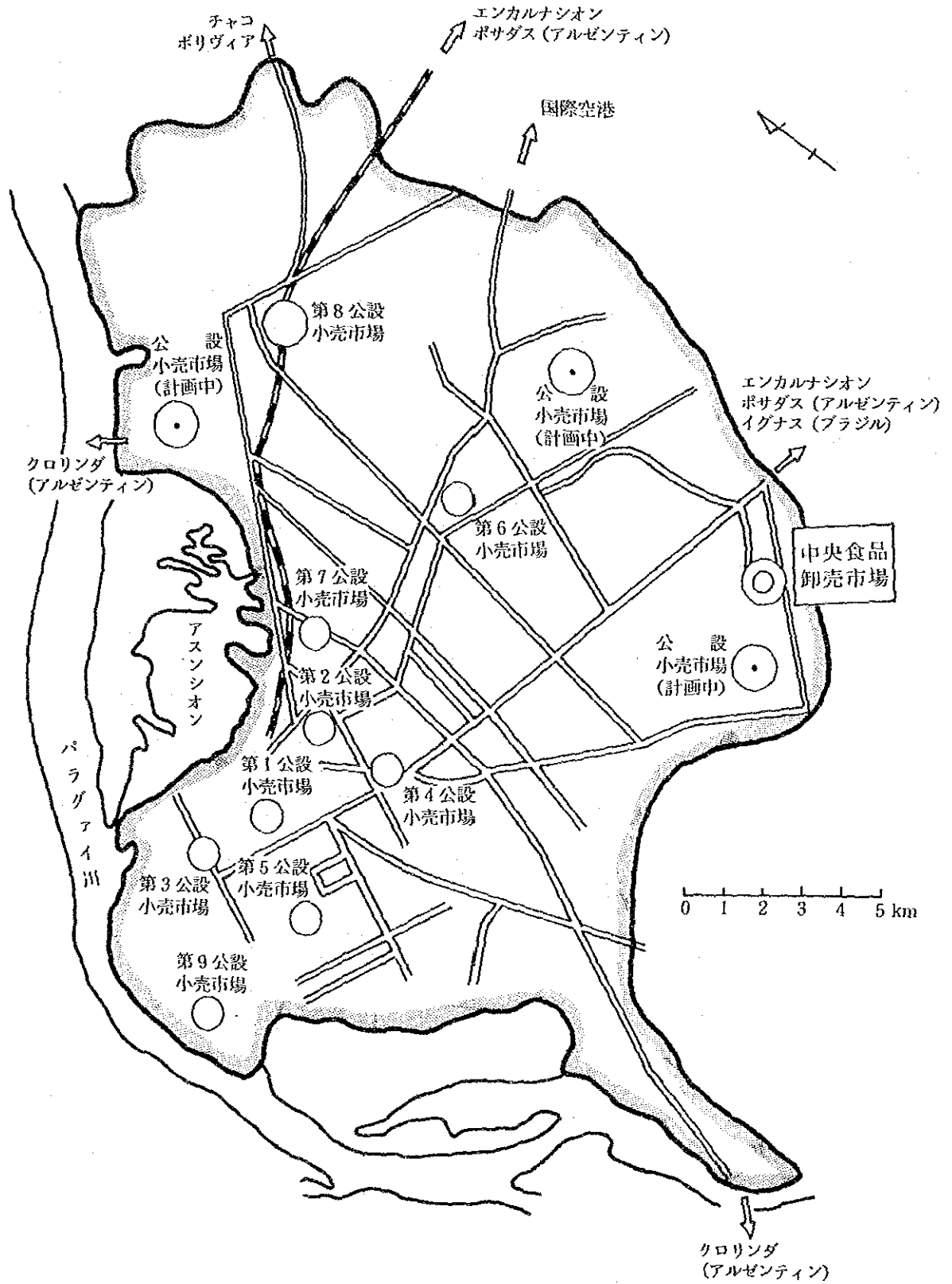
農業開発協力部

部長 有川通世

パラグアイ全図



アスンシオン市中央食品卸売市場と公設小売市場配置図





Agasajo a la delegación japonesa

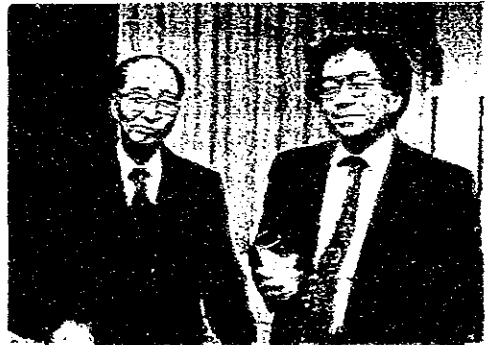
Mitsunori Shirakawa, consejero de la Embajada, en compañía de Roberto Kanonnikoff, durante la reunión social.



En la residencia del embajador del Japón, doctor Sunio Ono, tuvo lugar una recepción en honor a la misión enviada por el Gobierno del Japón. Grupo integrado por Tadashi Kamizuru, jefe de misión; Keishi Katayama, Teruo Kurabayashi, Masakazu Hashimoto, Masahiro Nomura y Koji Sakani. Instantánea captada en dicha ocasión.



El anfitrión de la noche, embajador del Japón, Sunio Ono, rodeado por los invitados en esta imagen captada en dicha oportunidad.



Koichi Yaguchi y Hisao Watanabe también participaron del ameno agasajo.



Tadashi Kamizuru, jefe de misión, dialogando con el representante de JICA, Seiki Uehara.



Belvedere
SERVICIO INTEGRAL PARA FIESTAS.
• TOLDOS • TAHIMAS
• DECORACION • FLORERIA
TELEFONOS: 23 777
24 725 y 212 468
Brasil esq. España

BLANCA PATRICIA ROMERO CALCENA
Y
RAFAEL ERNESTO MARTI TALAVERA

Participan por este medio su enlace matrimonial y agradecen a familiares, amigos y compañeros sus manifestaciones de aprecio.

本プロジェクトの円滑な実施を目的に開かれた
大使主催レセプション
(日刊紙「NOTICIAS」の掲載記事)

目 次

序 文

プロジェクト位置図

1. 巡回指導（中間評価）調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査団の日程	3
1-4 主要面談者	4
1-5 中間評価の方法	7
2. 要 約	9
2-1 巡回指導調査の実施に当たって	9
2-2 調査結果及び今後の活動計画等の概要	10
3. 協力実施の経過	16
3-1 相手国の要請内容と背景	16
3-2 暫定実施計画（TSI）及び詳細年次計画	16
3-3 協力実施プロセス	29
4. プロジェクトの進捗状況	30
4-1 日・パの投入実績	30
4-2 技術移転実績	39
5. 軌道修正の必要性	54
5-1 青果物集出荷システム	54
5-2 情報提供システム	56
5-3 卸売市場運営	58

6. 取るべき措置	65
6-1 連絡協調体制の整備	65
6-2 カウンターパート	66
6-3 道路整備	67
6-4 プラスガライ農協の共同集出荷への参加問題	68

別添資料

1. ミニッツ	73
2. 農牧省組織図	92
3. オビエド農協に関する資料	94
4. コルメナ農協に関する資料	108
5. 中央卸売市場の卸売業者について	118

1. 巡回指導(中間評価)調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

(1) これまでの経緯

パラグアイ国は、輸出額の95%以上を農業部門に頼っており、国の開発政策においても農業部門は常に重要な位置を占めている。

我が国は、このような状況を踏まえ、1981年から7年間、「アスンシオン市中央食品卸売市場改善計画」を実施し、食品の流通改善に取り組んできた。

このプロジェクトにより市場の体制は整備できたものの、アスンシオン市は生産者に対して品質規格の採用を強制する職権をもたないため、合理的な市場流通体制の確立が不十分な状況にあった。このためパラグアイ国政府は品質規格を利用した効率的な青果物の流通体制を整備するため、1989年に日本大使館を通じ、日本政府に再び技術協力を正式要請してきた。

これを受けて国際協力事業団(JICA)は、1991年3月6日から「パラグアイ青果物流改善計画」を開始した。

本プロジェクトは、

- 1) 農業協同組合から市場までの間の集出荷に係る流通機構の編成、運営に関する指導
- 2) 生産物の集出荷システムの確立に必要な機械類の設備とその運営、管理に関する指導
- 3) 野菜・果樹の品質規格基準及び荷姿に関する指導とその普及方法に関する指導
- 4) 青果物流通改善センターを中心とした情報提供システムの整備とその運営、管理に関する指導
- 5) 中央食品卸売市場の青果物部門に関する運営の改善指導

以上五つの大課題を設定し、17の中課題を設けている。

1991年11月には、計画打合せ調査団を派遣し、小課題38項目を設定するとともに詳細年次計画を策定した。

(2) 目的

本プロジェクトは、協力開始後およそ2年半を経過し、本プロジェクトの折り返し点に達している。そのため当初計画に照らしてプロジェクトの実績を評価し、また、必要があれば軌道修正を施すことにより、今後のプロジェクト活動をより効果的なものとしたい。

かかる業務を行うために中間評価調査団を派遣する。

なお、具体的な活動事項は以下のとおりである。

1) 現状把握

- ① TSI、詳細年次計画の項目ごとの技術移転実績
- ② 日・パ双方の投入実績（機材の使用状況を含む）

2) 問題分析

- ① プロジェクトの運営上の問題点（技術的課題を含む）の把握及び対応策の検討

3) 問題解決（軌道修正）

- ① 今後の協力計画の見直し

1-2 調査団の構成

<u>担 当 業 務</u>	<u>氏 名</u>	<u>所 属 先</u>
総括／青果物集出荷システム	上水流 忠	農林水産省食品流通局野菜振興課 野菜専門官
情報提供システム	橋本 正和	NTTデータ通信株式会社 第一公共システム事業部営業部 企画開発担当課長
卸売市場運営	倉林 輝雄	農林水産省食品流通局市場課 中央卸売市場検査官
協力企画	片山 恵之	農林水産省経済局国際部 国際協力課課長補佐
プロジェクト運営	野村 昌弘	国際協力事業団農業開発協力部 畜産技術協力課課長代理
業務調整	坂根 宏治	国際協力事業団農業開発協力部 畜産技術協力課

1-3 調査団の日程

日順	月 日	曜日	行 程	活 動 内 容
1	8 / 23	月	成田→	往路 (RG 833)
2	24	火	→アスンシオン	往路 (RG 902)、JICA 事務所日程調整 大手スーパー実査
3	25	水	アスンシオン	大使館・農牧省・アスンシオン市役所表敬 専門家との打合せ
4	26	木	→コロネル・オビエド	オビエド農協からの聴き取り調査 組合員の生産地実査
5	27	金	→エステ	オビエド組合員の生産地実査 エステへの移動
6	28	土	→アスンシオン	エステ市場実査
7	29	日	アスンシオン	資料整理
8	30	月	〃	D. A. M. A. 実査、公設小売市場実査 専門家からの聴き取り
9	31	火	→ラ・コルメナ →アスンシオン	S. I. M. A. 実査、コルメナ農協実査
10	9 / 1	水	アスンシオン	企画庁表敬、団内打合せ
11	2	木	〃	日本側関係者打合せ
12	3	金	〃	日・パ協議
13	4	土	〃	ミニッツ作成
14	5	日	〃	ミニッツ作成
15	6	月	〃	日・パ協議
16	7	火	〃	ミニッツとりまとめ、署名 団長レセプション
17	8	水	アスンシオン→	JICA 事務所・大使館報告、帰路 (RG 903)
18	9	木	→	帰路 (RG 832)
19	10	金	→成田	

*備考：片山団員は、9月6日、AA 956、RG 836により、9月8日、成田に帰国する。

1-4 主要面談者

- MAG - (農牧省)

Ing. Agr. Raúl Venancio Torres Ministro de Agricultura y Ganadería		(農牧大臣)
Ing. Agr. Cayo Franco Samaniego Sub-Secretario de Agricultura - MAG		(農牧次官)
Ing. Agr. Ronaldo Dietze Director D. G. P. - MAG		(農牧省企画総局長)
Ing. Agr. Wilfrido Zárate Director D. C. - MAG		(農牧省流通局長)
Ing. Agr. Roque Leguizamón Jefe de Información y Asistencia Técnica D. C. - MAG		(農牧省流通局部長)
Ing. Agr. Francisco Spezini Coordinador de proyectos MAG		(SEM 職員)
Ing. Agr. Rubén Medina Contraparte de DAMA - SEM	市場担当	(SEM 職員)
Ing. Agr. Nelson Benavente Contraparte de Coop. La Colmena - SEM	コルメナ担当	(SEM 職員)
Ing. Agr. Alfredo Araujo Contraparte de Coop. Cnel. Oviedo - SEM	オビエド担当	(SEM 職員)
Ing. Agr. Nestor Ayala Contraparte DAMA - SEM	市場担当	(SEM 職員)
Ing. Agr. Rafaela Bobadilla Responsable de SIMA - MAG		(SIMA 主任)
Ing. Agr. Lidia González de Ferreira SIMA - MAG		(SIMA 職員)
Srta. Noemí Monti Secretaria SIMA		(SIMA 職員)
Sr. Carlos Cantero Auxiliar SIMA		(SIMA 職員)
Ing. Agr. Alberto Bianciotto Responsable del Servicio de Información		(広報課主任)
Ing. Agr. Francisco Ibarra Asesor Técnico de D. G. P. - MAG		(農牧省企画総局プロジェクト担当)

- Municipalidad de Asuncion - (アスンシオン市庁)

Dr. Carlos Alberto Filizzola Pallarés Intendente de la Ciudad de Asunción		(アスンシオン市長)
--	--	------------

- Sr. Roberto Kanonnikoff
Director General de Mercados (アスンシオン市場総局長)
- Sr. Eduardo Laterza
Director de DAMA (アスンシオン市場局長)
- Ing. Agr. Ilse Peralta
Jefe de Dpto. Tecnico - Encargada del Proy. - DAMA (アスンシオン市場技術部長)
- Ing. Agr. Zulema Reyes de Vera
Jefe de Laboratorio - DAMA (アスンシオン市場検査室長)
- Sr. Cesar Romero
Tecnico de Dpto. Tecnico - DAMA (アスンシオン市場技術部職員)
- Sr. Walter Kurtz
Jefe de Dpto. Programación - DAMA (アスンシオン市場プログラム部長)
- Cooperativas - 農協
- Sr. Antonio Rojas
Pte. de la Coop. Cnel Oviedo (オビエド組合長)
- Sr. Heriberto González
Gerente de la Coop. Cnel. Oviedo (オビエド農協参事)
- Ing. Agr. Francisco Burgos
Jefe de Dpto. Agropecuario - Cnel. Oviedo (オビエド農協農牧部長)
- Ing. Agr. Manuel Rojas
Tecnico de Dpto. Agropecuario - Cnel. Oviedo (オビエド農協農牧部職員)
- Sr. Jitsugoro Seki (関 実五郎)
Pte. Coop. La Colmena (コルメナ組合長)
- Sr. Toshio Hoshino 星野
Gerente Coop. La Colmena (コルメナ農協参事)
- Sr. Kazuya Miyamoto (宮本 一弥)
Contraparte Coop. La Colmena (コルメナ農協監事)
- Sr. Hideo Hirota (広田 英郎)
Gerente Cooperativa Nikkei (日系農協販売所所長)
- Sr. Kikuchi 菊地
Encargado de Venta de Cooperativa Nikkei (日系農協販売所主任)
- 企画庁 -
- Dr. Angel Vicente Urbieto
Secretario Ejectivo de la STP (企画庁長官)
- Dr. Leyla Dami de Gimenez
Director de la Dirección de la Cooperación Técnica Internacional 企画庁国際技術協力局長

- EMBAJADA DEL JAPON - (日本大使館)

Sr. Sumio Ono
Embajador del Japon (大使)

Sr. Hiroshi Miyakawa
Secretario de la Embajada del Japon (技術協力担当書記官)

- Agencia de Cooperación Internacional del Japon (JICA) - 国際協力事業団

Sr. Seiki Uehara 上原 盛毅
Director del JICA (JICA 事務所長)

Sr. Kaichiro Shimizu 清水 嘉一郎
Jefe de Sección de Asistencia Técnica - JICA (JICA 業務二課長)

Sr. Kenji Yamamoto 山本 謙治
Encargado de Proy. - JICA (JICA 業務二課職員)

Ing. Agr. Hideo Ago (吾郷 秀雄)
Encargado de Planificación del GT del MAG - JICA (JICA 専門家)

- プロジェクト専門家 -

Lic. Mayuki Shinkai (新海 眞幸)
Lider del Proy.

Ing. Agr. Rinzo Isokawa (磯川 林蔵)
Experto de Sistema de Acopio y Envio

Ing. Agr. Yasuo Tsutsumi (堤 八洲雄)
Experto en Información

Ing. Agr. Hisao Watanabe (渡邊 久夫)
Experto de Manejo de Mercado

Ing. Agr. Koichi Yaguchi (矢口 宏一)
Coordinador del Proy.

1-5 中間評価の方法

技術協力のスキームの一つとして、プロジェクト方式技術協力が、長年、途上国で展開されているところ、最近、協力自体を効率・効果の観点から評価する動きがある。かかる状況下で、国際協力事業団は、評価ガイドラインを設定し、有期限のプロジェクト方式の技術協力の最終年度における成果を明確な形で達成すべく方針を打ち出し、全条件を対象とするに至っている。

そもそも協力とは、先方政府が事業を展開するに当たり、我が国が一定期間指導するものであり、成果とは、先方が独自に事業を実施できるようになることかと思われる。本プロジェクトに関して言えば、国の青果物流通改善という事業について、農牧省とアスンシオン市が、それぞれの所掌する部分について、担当するプロジェクトを形成しており、我が国の協力終了後、同プロジェクトを確固とした組織にし、継続して改善事業を展開するのであれば、成果があったものとして評価してよいと思われる。

以上のことを確認するとともに、念頭に置きつつ、次のプロセスで中間評価を実施した。

1. 実査

本プロジェクトは生産地から卸売市場を経て消費者に至る青果物の流通を改善することを目的とするもので、分野的には生産地における共同集出荷システム、中央卸売市場における卸売機能と関係実施機関等に対する情報サービス機能の3分野に係る活動を行うものである。したがって、生産者を含めたモデル農協、中央卸売市場並びに情報センター等の機関を実査することにより、現状を把握した。

2. 分析・検討

計画打合せ調査時に作成し先方政府と合意しているプロジェクトの活動計画の各項目について、その進捗を分析・検討した。調査を開始する以前の東京サイドでは、プロジェクトの活動が停止しているのではないかと危惧したほど、状況を把握できていなかった。

3. 見直し

残協力期間に最低得べき成果を見つめつつ、現時点において何をすべきか見直しを実施した。すなわち、当初活動計画の項目を出来るだけ削除し、本プロジェクトの根幹である共同集出荷システムを組織し、卸売市場への青果物の物流をある一定の量、実現することに集中する計画とした。

4. 評価結果の合意

本来であれば、日・パ合同にて中間評価を実施し、合同評価報告書にとりまとめ、双方が合意するのが最良の方式と思われるが、今次の評価については、パラグアイ側の協力を得つつ日本側調査団が評価をし、ミニッツ形式でとりまとめ、最終的にはパラグアイ側に承認されることとした。

今次の評価において特に注目されたことは、卸売市場改善を目的としたフェーズⅠのプロジェクトと、現在のプロジェクトの目的の違いであった。つまり、現在のプロジェクトはフェーズⅠのプロジェクト現場から川上にさかのぼって、生産地から共同出荷をすることにより改善する組み立てであり、いわばプロジェクトの核とも言えるべきこの点を、充分理解しての評価作業であった。

2. 要 約

2-1 巡回指導調査の実施に当たって

今回の調査団は、このプロジェクトのこれまでの活動内容を検討・評価するとともに、今後の活動計画及び援助内容等を定めることを目的としたものであった。このため、予め事前に調査団員の意識統一を図って調査を行うこととした。

その概要は次のとおりである。

このプロジェクトは1981年から7年間実施された「アスンシオン市中央食品卸売市場改善計画（いわゆるフェーズⅠ）」を補完するとともに、共同集出荷の推進等の産地指導も加えて、この卸売市場の効率的な活用等により、パラグアイ国の農産物生産の振興に寄与することを目的として、1991年3月から5年計画で実施されている。

当初の技術協力課題は、大まかには、①産地（モデル農協）、②卸売市場（DAMA）、③情報の提供（SIMA）、の3部門で、大項目5、中項目17、小項目38とし、5年間の詳細年次計画も作成してスタートし、これらに基づき、それぞれの諸活動・援助等が行われ、2年半を経過している。

しかしながら、5年間の実施期間の折り返し点に至った現時点で、過去の実施計画内容等を整理し、日本国の協力によるプロジェクトが終了し、パラグアイ国に引き継ぐ時点を想定した場合、理想的な将来像を想定しているものの、各部門が協力し合って重点的に推進する柱（目標）が、必ずしも設定されているとは言えず、また、本プロジェクトを支える関係機関の相互の連携体制も不十分であったような印象を与えている。

このようなことから、今回の調査・検討の視点としては、

(1) 今後の、本プロジェクトの実効性を高める方向を定めるために、次の内容を中心に実施する。

- ① 今までの活動・援助内容を検討し、その実績を評価する。
- ② 当初の活動・援助計画の内容等を念頭に置きつつも、生産者支援の視点から青果物流通の合理化、効率化の推進を活動項目の柱として、今後の活動計画をしばり込む。

(2) また、この具体的な活動・協力の目標及びその手順としては、

- ① 生産者支援の視点から、青果物の効率的な流通のシステムとして、共同集出荷の推進を中心課題として位置付ける。
- ② この推進方法の一段階として、卸売市場流通の各段階（生産者、コミッティ、農協、卸

業者)にモデルを設定する。

- ③ このモデルを通じた、生産・流通の合理化、効率化（具体的な内容例：品質及び生産性の向上、小売業者等の要望に対応した規格選別の推進、品質の保持管理、流通コストの削減並びに有利販売、等）の推進により、各関係者の利益が向上する方策をも考慮しつつ、このための諸活動及び条件整備の骨子を定める。
- ④ この骨子に基づき、各モデルの連携体制を強化するための具体的な活動・支援内容を定め、これを通じた共同集出荷を推進・指導する。
- ⑤ このモデルの諸活動の波及的効果を狙うこととし、諸活動の実績や問題点等を取りまとめ、各段階の関係者等への啓蒙、普及に努めることによりパラグアイ国の青果物流通改善に資する。

(3) 各部門別の活動目標としては、

① 青果物集出荷システム（産地・農協）

モデル農協（コロネル・オビエド：一般的な農協、ラ・コルメナ：先進的な農協）の主体的運営を目指して、共同集出荷体制を整備・強化し、パラグアイ国におけるモデルとして育成する。

② 卸売市場運営（DAMA）

今後、生産者の立場も理解しつつ、卸売業務を行えるとみられる業者をモデル卸売業者として設定し、公正な卸売業務の推進体制を確立するための重点的指導及び条件整備を行う。

③ 情報の提供、指導（SIMA）

収集する情報としては、共同集出荷を推進するための市場情報及び計画的生産出荷を推進するための産地情報に重点を置き、これらの情報の精度の向上と実状に応じた適切な情報の提供並びに利活用のための指導及び諸条件の整備を行う。

(4) 今後の活動項目とその内容

これまでの活動実績の評価結果及び上記の活動目標等に即して、実施期間も考慮しつつ、今後重点的に行う活動項目とその内容をそれぞれ検討して作成する。

2-2 調査結果及び今後の活動計画等の概要

(1) 活動実績及び評価結果

出発前に得た情報では、あまり成果がみられず、供与機材等の利活用も進んでいないようであった。

もともと、このプロジェクトは、青果物流通の改善というソフトの事業であり、我が国においても長い歴史と経験及び行政の指導・援助等を経て現在の卸売市場流通システムが成立

しているものの、生産条件あるいは消費状況等をめぐる社会環境や価値観の変化などにより、たえず改善、合理化を求められている事項である。

まして、立地・経済条件、価値観、生活様式、社会制度、教育状況などが我が国とは大きく異なるパラグアイ国において、短期間に目に見えるような成果を期待することには、やや無理な面もあり、長期的な視点でその動向を判断する必要があるようにも考えられた。

しかしながら現地調査等を行ったところ、日本人専門家等の熱意ある木理（きめ）細かい指導やパラグアイ国のカウンターパート及び政府等の積極的な行動・支援もあって、1992年11月20日から本格的な共同集出荷が開始されており、その成果（収益の増加）が認められ、参加者及び集出荷量は月々増加し、モデル農協地区内の他の農協や周辺の生産者群からも共同集出荷への参加要望が出るほどに期待は高まりつつある状況がみられた。

この共同集出荷は強制的に推進されたものではなく、生産者の利益になるような流通・販売対策の誘導が木理（きめ）細かい段階的な説明会の積み重ねにより相互の信頼関係が生まれ、お互いの納得のもとに行われつつある。まだ始まったばかりで、日本のような先進的な状況に比べると農協及び生産者も改善すべき点は多いものの、今後急速に発展し、普及・定着することは間違いないものと思われる。

一方、卸売市場の運営改善についても、卸売市場の公共性や信頼性の向上のための説明会や統一伝票の導入テストの実施など計画的、具体的に推進されつつある。しかしながら、この卸売市場開設時の業者の入場希望者が少なく、幅広く入場を許可した経過等もあり、現在は110業者が営業しており、零細な業者が大部分を占めている。また、商慣行や営業感覚も一般的に未熟な状況にあり、すべての業者が生産者や小売業者、消費者等の立場をも考えつつ、営業改善に努めるようになるまでには、まだ、かなりの年数が必要ではないかと考えられる。

しかし、産地における共同集出荷の推進も具体的に目に見えつつあることから、業務の改善・合理化等により生産者等の信頼を高めることが営業の発展になることを感じ始めている業者もいるのではないかと想定される。

また、共同集出荷量が大幅に増加する時点のことを考えると、その商品を小売業者等に有利に販売できる業者の組織化、共同化が極めて重要な課題である。

したがって、今後は、約110の業者の中から重点的、集中的に指導し、卸売市場全体の流通合理化と運営の改善のモデルとなり得るような業者を選定して、この部門の技術協力の成果をあげる必要がある。

また、情報部門においては、アスンシオン市のほかエンカルナシオン、エステの代表的な業者の販売価格等を調査し、その状況をラジオ放送、FAX等で公表しており、特に二つのモデル農協の生産者に対しては、無線機を活用して情報提供が行われており、共同集出荷の推進に大きく貢献している。

しかし、農村地帯では、まだ電気のない地帯も多く、高度な情報を与えたとしても必ずしもその利活用方法もわからず、むしろ、例えば生産者の生産出荷等の記録を手伝う（記録のできない生産者も多い）ことや共同集出荷に係る農協の代金精算システムあるいは卸売業者の営業記録など具体的な利益に直接関連する正確な情報の記録・分析等の初歩的な指導・協力も必要ではないかと考える。

なお、このプロジェクトの連絡協調体制の面では、農牧省とアスンシオン市の合同事業であり、集出荷・情報・卸売市場運営の3分野が有機的に関連して活動できるように関係機関が相互に協議を緊密に行う体制（関係機関等を網羅した「青果物流通改善センター」組織）を早急に確立する必要がある。

いずれにしても、産地における共同集出荷の具体的な推進を契機として、他の分野の諸活動にも一層活気を与えつつある状況にあり、関係者の理解と協力が更に必要であろうと考える。

(2) 今後の技術協力課題及び活動内容

青果物の生産・出荷に係る組織活動のモデルとして引き続きラ・コルメナ農協及びコロネル・オビエド農協を対象に共同集出荷の推進等について重点的に指導するとともに、組織の強化・充実のための諸活動を他の分野の協力等も得つつ推進する。

また、卸売市場部門については、市場運営の改善と生産者支援の観点からモデル卸売業者を選定し、重点的指導を行うことが効果的であると考ええる。

一方、情報部門においては、青果物の流通改善に関する情報収集と提供体制の整備を更に推進するとともに、共同集出荷及び卸売市場の運営改善を側面から支援することも必要である。

このような視点で、関係者と協議して今後の技術協力課題及び活動内容を定めた。なお、詳細年次計画については、この調査期間中には策定できなかったため、ミニッツの中に「取るべき措置」として「合同委員会で協議した上、早急に策定し、プロジェクトの円滑な推進を図る必要がある。」と定めた。

また、関係者との合同協議の席で、青果物流通改善を推進する全体の基本的考え方及びこのプロジェクトの位置付け・協力の範囲等の体系を判り易くするために、参考として別図を作成配布し、説明を行った。

なお、この図を参考として関係者で協議・検討して正式の体系図を作成し、活用するように勧めた。

(3) その他

我々調査団が農牧省技術官房局長を表敬訪問した際、先方より「プラスガライ農協がプロジェクトに参加したいとの意向を有しているので、是非参加させてほしい」との要望があった。

この問題については、前回の巡回調査団（1992年12月）が一応の結論を出しており、しかも、苦勞して共同集出荷を開始した経過等からみて、現地の農協及び生産者等の了解が得られないと共同集出荷体制に将来ひびが入る恐れも考えられるので、即答は避けた。

しかしながら、安易に結論を出すことには問題があるとはいうものの、この農協の組織化等の指導は、我が国からチーム派遣された青年海外協力隊が行っていることもあり、本年内には結論を出す必要があるだろう。

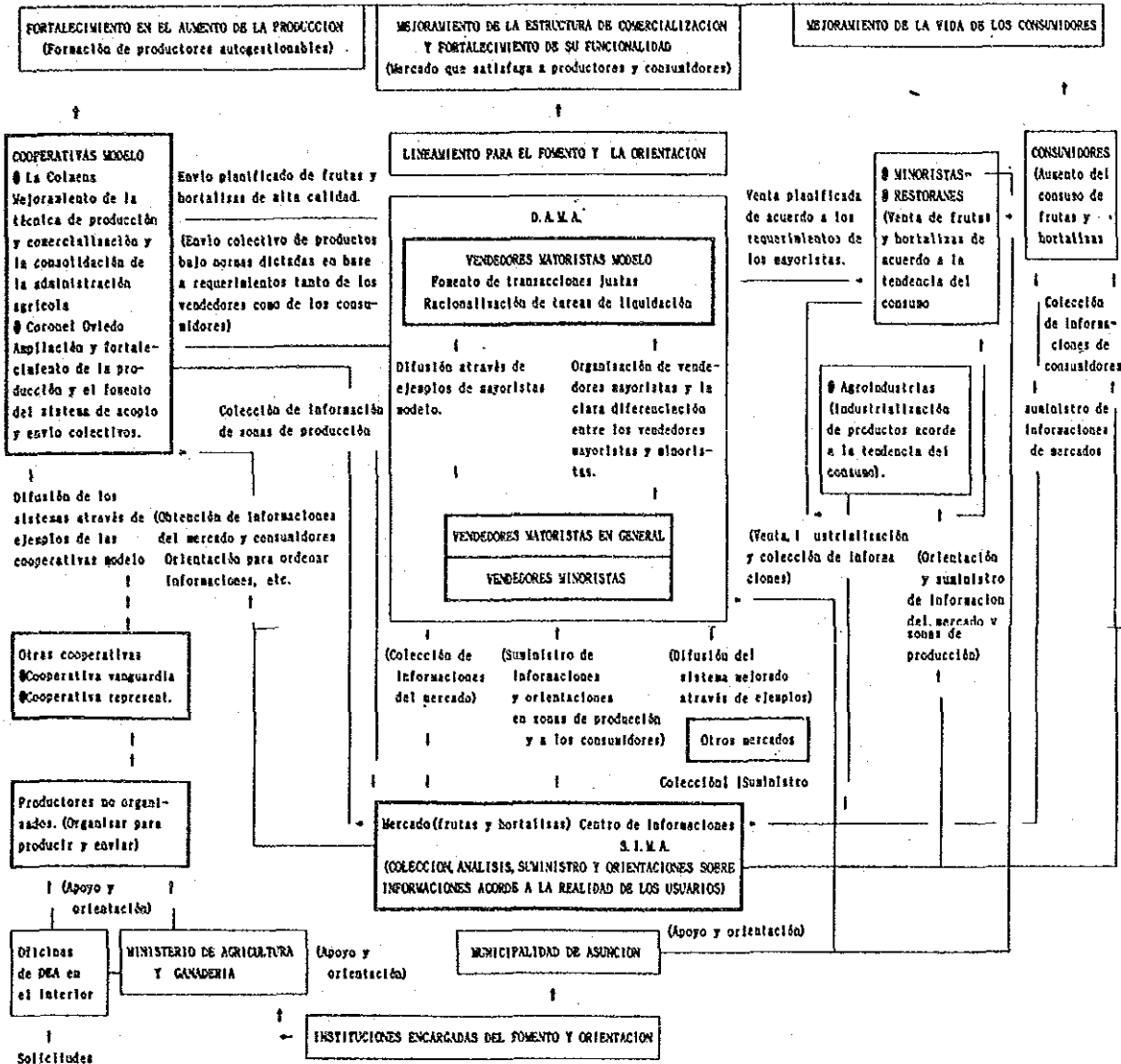
いずれにしても、このように同じ地域で我が国の協力による同類の事業がある場合は、たえず基本的な方向が違わないように充分指導するとともに、現地専門家同士の定期的な交流と意見交換が極めて重要であると考えます。

（この問題の具体的な内容等は別項に記述。）

SISTEMA DE ORIENTACION Y FOMENTO PARA LA IMPLEMENTACION EN ADELANTO DEL PROYECTO DE MEJORAMIENTO DE LA COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS DEL PARAGUAY

OBJETIVOS DE ORIENTACION Y FOMENTO

DESARROLLO ECONOMICO DEL PARAGUAY Y EL MEJORAMIENTO EN LA VIDA DE LOS CONSUMIDORES



3. 協力実施の経過

3-1 相手国の要請内容と背景

パラグアイ国の経済の中で農業は国内総生産の約25%を占め、経済人口の約45%以上が従事している。また、輸出額の95%以上が農業部門によるものであり、国の開発政策においても農業部門は常に重要な位置を占めている。このような中で野菜と果物の流通は1981年に中央卸売市場が開設されるまでは極めて初歩的な方法で行われていた。

中央卸売市場の開設は米州開発銀行の融資を受けてアスンシオン市の力で建設され、1981年12月から1988年12月まで日本政府の技術協力を受けて中央卸売市場のプロジェクトが行われた。この協力によって野菜と果物の流通システムは、消費者及び小売業者側のパイプとしての卸売市場体制を中心に、かなり改善された。

しかしながら、中央卸売市場を管轄するアスンシオン市は市場の体制は整備できたものの、生産者に対して品質規格を強制する職権をもたないため、アスンシオン市長は農牧省に共同事業に対する協力を要請した。中央卸売市場を含む野菜と果物の流通の現情を考慮したパラグアイ国政府は、農産物の流通の改善を目的とした規格に基づく青果物の集荷、選別、包装及び出荷等に関する技術協力を再び日本政府に要請することが適当であると考え、1989年に、我が国に書簡を以て正式要請してきた。

パラグアイ国政府からの要請内容は次のとおりである。

- ① 農業協同組合から市場までの集荷、出荷に係る流通機構の編成、整備に関する指導（生産物の販売を含む）
- ② 野菜、果物の品質規格に関する指導書の修正と普及
- ③ 生産物の集荷、出荷システムの確立に必要な機械類の設備と、その運営、管理に関する指導
- ④ DAMA と生産地間の情報伝達システムの整備と、その管理に関する指導
- ⑤ 中央卸売市場の組織の改善
- ⑥ 生産地において、栄養改善を目的とした栄養講習会の実施

3-2 暫定実施計画（TSI）及び詳細年次計画

上記の経過を踏まえ、当事業団は事前調査、長期調査、及び実施協議調査を行い、1991年3月に「パラグアイ青果物流通改善計画」に係る討議議事録（R/D）を締結した。

実施協議調査において策定された「暫定実施計画（TSI）」及び計画打合せ調査において策定された「詳細年次計画」は次のとおりである。

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTAION

Cooperation activities

-- 1.

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Advice and guidance on organization and management of marketing system for collecting and shipping vegetables and fruits between the agricultural co-operatives and the Asuncion Central Food Wholesale Market.						
1) Data arrangement of inflow and outflow of Market						
2) Forming cooperation system for collecting and shipping						
3) Planning cooperation system for collecting and shipping						
4) Administration of cooperation system for collecting and shipping						
2. Technical guidance to equip machinery for establishment of the collecting and shipping system for vegetables and fruits and to operate and maintain them.						
1) Planning necessary facilities and machinery for collecting and shipping						
2) Technology of maintenance, operation and management of necessary facilities and machinery for collecting and shipping system						

Y. S

NS

Item	Year	1st.	2nd	3rd.	4th.	5th.
3. Advice and guidance on diffusion of quality and packing standards for vegetables and fruits.						
1) Quality standards						
2) Packing standards						
3) Methodology of diffusion for quality and packing standards						
4. Advice and guidance on organization and management of an information communication system led by the Vegetables and Fruits Marketing Improvement Center.						
1) Planning effective system of giving information						
2) Utilization technique of information system						
3) Data collecting and analysis technique						
5. Advice and guidance on improvement of administration capability of the vegetables and fruits field in the Asuncion Central Food Wholesale Market						
1) Improvement of monitoring method of collecting amount and study of the monitoring method of total marketing volume and sales amount						
2) Study for data of dealing index						
3) Improvement of data process system						
4) Improvement of sales system						
5) Arrangement of management system						

N.S.

Nf

Technical Cooperation Program (Japanese side)

- 3

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Dispatch of experts						
1) Long-term assignment						
(1) Team Leader						
(2) Coordinator						
(3) Collecting and shipping system for vegetables and fruits						
(4) Market management						
(5) Information communication system						
2) Short-term assignment		Experts will be dispatched when necessity arises				
2. Acceptance of Paraguayan Counterpart personnel in Japan		(About 2 to 4 personnel a year)				
3. Provision of equipment, machinery and materials						
4. Dispatchment of missions		— — — — Missions will be dispatched when necessity arises				

MS

AF

Technical Cooperation Program (Paraguayan side)

- 4 -

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Assignment of counterpart and administrative personnel						
1) Head of the Project						
2) Counterpart personnel in following fields :						
(1) Collecting and shipping system for vegetables and fruits						
(2) Market management						
(3) Information communication system						
(4) Other fields connected with the Project		Counterpart personnel will be assigned when necessity arises				
3) Administrative personnel						
(1) Administrative officers						
(2) Accounting officers						
(3) Secretaries						
(4) Other necessary personnel mutually agreed upon when necessity arises						
2. Provision of land, buildings and other necessary facilities						
3. Allocation of necessary budget						

M.S.

A.P.

詳細年次計画

年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
事業内容 1. 農業協同組合から市場までの集出荷に係る流通機構の編成、運営に関する指導 1) 集出荷基礎データの整備	<p>①生産農家の分布図、農家戸数、経営規模等生産地域の実態を直近年を含めて調査する。</p> <p>②各農家の共同出荷への意向を調査し、統一規格による共同出荷の有利性について検討する。</p>	<p>①品目別作付面積、生産量、出荷量及び今後の品目別作付予定面積等を調査する。</p> <p>②個別選別か、共同選別か、併用で行うか、生産地の実情に合った手法を検討する。</p>	<p>①組合員元帳、組合員出資金台帳等を整備し、健全経営を検討するとともに、基礎データの集積を図る。</p> <p>②家族調書、所有面積、使用機具、連絡方法等を調査し、その整備を図る。</p>	<p>①品目別生産計画の策定を検討し、計画的出荷体制の促進を図る。</p> <p>②集出荷に必要な機材について調査、検討する。</p>	<p>①生産地に合った作物の年間作付面積、生産量、出荷量等を把握し、計画生産出荷に係る基礎データの集積を図る。</p> <p>②統一規格、同一荷姿による共同集出荷の有利性についての資料を整備し、その啓蒙普及を図る。</p>
	2) 共同集出荷組織の編成	<p>①ラ・コルメナ農協については、品目別の作付面積、出荷量、出荷時期流通形態等の実態を把握する。</p> <p>②コロネル・オビエド農協については、地域の生産状況と流通形態を正確に把握し、共同出荷組織の基礎的整備を検討する。</p>	<p>①果実が主要品目であるが、野菜等の多品目作付によって年間出荷体制の充実を検討する。</p> <p>②広い地域にわたり野菜が作られているため、出荷物品の集荷、選別、組合への加入情報の連絡等について、適切な手法を検討する。</p>	<p>①計画的な生産出荷計画の樹立を検討する。</p> <p>②農業協同組合として、集出荷、入金、支払い、情報の伝達、適切な人員配置等を図るとともに指導体制の強化により円滑な業務の推進を検討する。</p>	<p>①品目別統一規格に沿った集出荷体制の整備について検討する。</p> <p>②出荷時期を予定した計画生産、計画出荷等安定的な出荷体制の整備を検討する。</p>

年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
3) 共同集出荷システムの策定	<p>①共同集出荷を促進するには、品質規格に沿った統一伝票類の整備が必要とされ、現況の使用伝票の実態を調査する。</p> <p>②農協組合員の地域分布、交通網、出荷品目を考慮した適切な出荷システムを検討する。</p>	<p>①統一様式による伝票類を整備し、その使用及び定着化を検討する。</p> <p>②共同集出荷システムのあり方を検討する。</p>	<p>①集出荷業者、産地仲買人、輸入業者等の実態を調査、把握し、共同出荷体制の整備、充実を検討する。</p> <p>②荷受販売業者を的確に把握し、生産者の理解できる支払い伝票の使用を検討する。</p>	<p>①生産農家等における集出荷場所等について調査するとともに、的確な集出荷方法を検討し、共同集出荷のシステム化を図る。</p> <p>②共同集出荷施設を整備し、市場出荷への有利な体制整備を検討する。</p>	<p>①荷さばき、積替え、品目別容器の使用、輸送事故防止等効率的な共同出荷システムの充実、強化を図る。</p> <p>②冷風車、冷蔵施設等の整備、活用により出荷調整機能の充実を図る。</p>
4) 共同集出荷組織の運営	<p>①組織規定、組合員台帳、入金、支払い、販売代金の分配等組織の管理、運営を検討する。</p>	<p>①青果物生産農家の品目別作付面積、収穫時期、出荷量等を把握し、出荷計画の策定を検討する。</p>	<p>①主要品目の出荷量、市場出廻り量、取引価格等の情報を活用した集出荷計画の策定を検討する。</p>	<p>①いっしゅ出荷するのが高価格取引を維持できるかの確に把握し、有利な販売体制の整備を検討する。</p>	<p>①品質規格基準に沿った青果物の計画的な共同出荷により、市場販売力の強化を促進するよう検討する。</p>
2. 生産物の集出荷システムの確立に必要な機械類の設備とその管理、運営に関する事項	<p>①共同集出荷システムに関する施設、機械類を調査し、年間利用計画の策定を検討する。</p> <p>②共同集出荷システムにおいて使用する施設、機械等の管理ルール、使用技術について検討する。</p>	<p>①モデル機協が集出荷に必要な選別機、統一容器、集出荷運搬車等について検討する。</p>	<p>①集出荷に必要な機械、選別機、集出荷場等を整備し、効率的な運営計画の策定を検討する。</p>	<p>①集出荷施設、冷蔵施設、集出荷機械等の管理、運営体制の整備を検討する。</p>	<p>①共同集出荷システムに必要な施設、機械等の管理、運営を行う技術者を養成し、年間を通じた的確な保守管理を検討する。</p>

年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
専業内容 3. 野菜、果実の品質規格基準及び荷姿に関する指導 1) 品質規格基準に関する指導	①既存の品質規格基準マニュアルの妥当性について調査、検討する。 ②生産者サイドに普及しなかった原因とマニュアルの普及方法について検討する。	①高品質規格品が高価でどの程度販売される所得水準にあるのか、購買力調査の実施を検討する。 ②生産者、消費者双方に受け入れられるマニュアルを検討する。	①品目別のどの程度のマニュアル整備が必要か、国内、輸出状況の実態を調査、把握し、適切な品質規格基準マニュアルの整備を図る。 ②ブラジル、アルゼンチンの1〜3級、規格外品と区別する方式を調査し、主要品目についての使用を検討する。	①生産者、消費者双方から受け入れられる品質規格基準マニュアルの定着化を検討する。 ②規格基準の選別程度によるコストを算出し、その妥当性を検討する。	①統一伝票の使用により、等階級区分による共同出荷を促進し、高品質、高価格、高収入の安定化を検討する。 ②市場に出荷されない規格外品の利用方法等について調査し、その有効利用を検討する。
2) 荷姿に関する指導	①小売市場、マーケット等国内に流通する品目別荷姿の実態を調査する。	①ブラジル、アルゼンチンから輸入される荷姿の良い青果物に対抗し得る手法等を検討する。	①品目別荷姿統一のため、容器利用の実態を調査し、大小規格、素材等について検討する。	①国内におけるトマト、ピーマン等品質規格に合った青果物の適正な荷姿について検討し、その啓蒙を図る。	①統一容器による荷姿向上のため、生産コストを勘案した強度、使用回数、回収方法、宣伝効果等を検討する。
3) 品質規格基準及び荷姿に関する普及方法	①品質規格基準及び荷姿の統一等の導入については、使用する生産者の意見を充分に聴取し、その普及を検討する。	①生産者の洗浄機、選別機等の所有状況、利用実態等を調査し、個人農家の選別精度の向上を検討する。	①共同集出荷体制を有利に展開するため、品質規格、荷姿の向上を促進し、市場における販売体制の強化についても検討する。	①品質規格、荷姿、等階級、出荷伝票システムの普及については、講習会、パンフレット、ポスター、展示会、教材作成等具体的な普及方法を検討するとともに啓蒙普及を徹底し、その定着化を図る。	①輸入物品に対抗し得る青果物の国内規格化を促進し、共同出荷を通じ生産者農家の経済的安定を図る。

年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
<p>事業内容</p> <p>3) 品質規格基準及び荷姿に関する普及方法</p> <p>4. 市場情報センター(SIMA)を中心とした情報提供システムの整備とその運営管理に関する指導</p> <p>1) 効果的な情報提供システムの策定</p>	<p>②品質規格基準及び荷姿にかかわる必要機材等について調査、検討する。</p>	<p>②モデル農協における品質規格基準に合った共同運別等出荷体制の整備、確立を検討する。</p>	<p>①国境地区の生産情報、流通、消費情報等の収集、提供システム整備の検討</p>	<p>①市場及び国境地区の流通情報の総合的な収集、提供、活用システムを検討</p>	<p>①国境地区を含め、流通情報を総合的に活用して、国内青果物流通の安定化に資するシステムを検討</p>
<p>①農牧省市場情報センター(SIMA)における流通情報網を強化するため、国境地区青果物流通の実態を調査検討</p> <p>②情報提供体制が整備されるまで現状の聞き取り調査を強化し、販売価格の公式なデータとして精度を高めるよう検討</p>	<p>①国境地区の流通情報収集システムの充実策を検討</p> <p>②市場から3、4、5時と3時巡回聞き取り調査を行い、当日の販売価格を品目別に電話でSIMAへ報告しているが、統一伝票のコンピュータ処理により早期に報告できる体制を検討</p> <p>③SIMAと市場においては、現在電話連絡であるが、ファックスによる正確な記録データ及びコピー使用できる電送システムを検討</p>	<p>①国境地区の生産情報、流通、消費情報等の収集、提供システム整備の検討</p> <p>②SIMAから他市場の前日の取引価格、入荷量、更に隣国の同一品目の取引価格、流通情報等を公表するシステムを検討</p> <p>③モデル農協と各農家で、ほとんど電気が通じていないため、無線機による連絡網の整備、ラジオ放送、掲示板等による出荷情報、市場取引情報等の交換情報の伝達システムを検討</p>	<p>①市場及び国境地区の流通情報の総合的な収集、提供、活用システムを検討</p> <p>②市場から前日の入荷量、販売価格、当日の需要量等確実な市場内流通の各種データを迅速に報告、提供できる体制を検討</p>	<p>①国境地区を含め、流通情報を総合的に活用して、国内青果物流通の安定化に資するシステムを検討</p>	

年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
事業内容					
2) 情報提供システムの利 用技術	<p>①情報機器については、前回ミッション機材を確認して、故障・補修等に対する健全な保守管理体制を検討</p> <p>②新機材により情報提供の効率を高めるため、農牧省使用のIBMに編成し、迅速な情報システムを検討</p>	<p>①プログラムの編成変え等を調査し、新規プログラムの効率化等を検討</p>	<p>①プログラムの編成変え等を調査し、新規プログラムの効率化等を検討</p>	<p>①プログラムの編成変え等を調査し、新規プログラムの効率化等を検討</p>	<p>①プログラムの編成変え等を調査し、新規プログラムの効率化等を検討</p>
3) 提供する情報データの 集計分析技術	<p>①市場内で使用する統一伝票による入荷量、販売量、代金支払を品目別、日、月、年毎に収集するシステムを検討</p>	<p>①モデル農協における品目別作付面積、収穫予想量、品質規格に基づく共同出荷量等のデータの収集分析により、必要に応じて提供、活用できるデータの整理を検討</p>	<p>①提供データの精度の向上等を図るための収集分析等、データ処理方法を検討</p>	<p>①提供データの精度の向上等を図るための収集分析等、データ処理方法を検討</p>	<p>①パラグアイ国全体の青果物流通情報を的確に把握し、活用できるよう、本プロジェクトにおける総合的なデータの集計、分析方法を検討</p>

事業内容	年度	1年次(1991年)	2年次(1992年)	3年次(1993年)	4年次(1994年)	5年次(1995年)
5) 管理運営体制の整備		<ul style="list-style-type: none"> ① 実効性のある業務規程の運用方策等を検討 ② 入荷時における品質面の検査のあり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ① 実効性のある業務規程の運用方策等を検討 ② 入荷時における衛生面の検査のあり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ① 実効性のある業務規程の運用方策等を検討 ② 生産者に理解される卸売手数料のあり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ① 実効性のある業務規程の運用方策等を検討 ② 健全な市場運営を推進するため、市場経営各分野における指導者の配置等、管理運営体制を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ① 実効性のある業務規程の運用方策等を検討 ② ゴミ、下水処理等食品流通の場にもふさわしい環境を確保し、防犯、災害等にも対処するため、市場内関係者による相互協力体制のあり方を検討

3-3 協力実施プロセス

これまでの協力実施の過程は、以下のとおりである。

年 月	内 容
1988年 12月	アスンシオン市中央食品卸売市場改善計画終了（81年12月から）
1989年 8月	新規案件要請書発出
1990年 4月 10月	事前調査団派遣 長期調査員派遣
1991年 2月 5月 10月	実施協議調査団派遣（3月6日からプロジェクト開始） 長期専門家派遣開始 計画打合せ調査団派遣
1992年 11月	巡回指導調査団派遣
1993年 8月	巡回指導調査団派遣

4. プロジェクトの進捗状況

4-1 日・パの投入実績

4-1-1 専門家の派遣

専門家氏名（派遣期間）	91年度	92年度	93年度
リーダー 新海 真幸（91. 5. 10～94. 5. 9）			
業務調整 矢口 宏一（91. 5. 10～94. 5. 9）			
青果物集出荷システム 佐々木 昇（91. 5. 10～92. 5. 9）			
磯川 林蔵（92. 5. 20～94. 5. 19）			
伊藤 鎗市（91. 10. 26～91. 12. 25）	—		
田中 瑞夫（92. 8. 5～92. 10. 4）		—	
来間 清典（93. 8. 23～94. 1. 20）			—
情報提供システム 堤 八洲雄（91. 9. 4～93. 11. 3）			
宗田 三弦（91. 10. 21～91. 11. 18）	—		
橋本 正和（93. 1. 20～93. 3. 19）		—	
卸売市場運営 新海 真幸（91. 5. 10～94. 5. 9）			
渡邊 久夫（92. 9. 9～94. 9. 8）			
手塚 信夫（92. 3. 27～92. 4. 26）		—	
高岡 深雪（93. 2. 24～93. 4. 23）			—

* なお卸売市場運営の長期専門家は、渡邊専門家の派遣までリーダーが兼務した。

長期専門家の活動概要については次の4-2「技術移転実績」に記載するが、短期専門家の活動概要は次のとおりである。

伊藤専門家：モデル農協の現状を精査した上で、オビエド農協に対しては共同出荷を進めるための条件整備を、また、コルメナ農協に対しては規格化を更に推進するための方策を検討・指導した。

田中専門家：両モデル農協の営農実態を精査し、農協の組織編成を行うための土台作りを行った。

来間専門家：農協における営農指導・計画出荷の方策について現在指導中である。

宗田専門家：流通過程における情報のもつ役割について指導するとともに、情報ネットワーク構築の方策について指導した。

橋本専門家：オンラインネットワーク構築のための方法について指導するとともに、情報の利用方法についてカウンターパートの認識の定着を行った。

手塚専門家：市場における農薬検査の手法及び卸売に適さない青果物の選別の方法について指導を行った。

高岡専門家：消費者の購買動向分析を行うことにより、卸売業者の経営体質改善に努めた。

なお、プロジェクトから提出のあった、今後の短期専門家派遣計画は、次のとおりである。

93年度：情報提供システム（11月から2か月間）情報ネットワーク構築

卸売市場運営（11月から2か月間）保冷施設の管理、運営

94年度：集出荷システム（11月から1か月間）冷蔵庫の効果的活用指導

集出荷システム（9月から2か月間）パソコン利用による経理事務合理化

情報提供システム（9月から1か月間）情報収集・提供に係るパソコン利用指導

卸売市場運営（10月から2か月間）モデル業者に対する品質規格・品質保持指導

95年度：集出荷システム（8月から2か月間）組織運営指導

情報提供システム（10月から2か月間）情報ネットワーク構築

卸売市場運営（7月から1か月間）市場機能・役割についての総括的改善指導

4-1-2 カウンターパート受入れ

年度・氏名	研修期間
91年度	
Roque Legizamón	91.10.20～91.11.19
Ruben Medina	91.10.20～91.11.19
92年度	
Jose Araujo	92.10.5～92.11.14
Rafaela Martinez	92.10.5～92.11.14
Zulema Reyes	92.10.5～92.11.14
Kazuya Miyamoto	92.10.5～92.11.14
93年度	
4名計画中	93年9月下旬から1か月

本プロジェクトが取り扱う「流通改善」については、我が国はまだ技術協力の歴史が浅く、しかも、OJTを通じて時間をかけないと学ぶことのできない部分も多いため、現在のカウンターパート研修は、日本の流通の仕組みを総括的に学び、パラグアイにおいて如何なる流通体系が実施可能なのかイメージ作りを行う場として活用されている。

流通改善は、各担当者が全体の中で自分が果たすべき役割を認識し、担当者間の連携が円滑に行われぬ限り成功しないと思われる。そのため、これまで実施されてきたカウンターパート研修のあり方は、本プロジェクトの推進のためにかなり有益であったと言える。しかしながら、総括的な研修だけにとどまらず、分野別の研修も織り混ぜ、各分野でどのような方策が取られているのか、具体的な技術・施策についても、じっくり研修することも、今後、必要であると思われる。

なお、プロジェクトから提出のあった、暫定的な今後の計画は、次のとおりである。

93年度：青果物流通行政	(生産、流通、消費全般にわたる行政指導)
卸売市場技術指導	(卸売業務の円滑な流通を管理できる実務の研修)
農協指導	(共同集出荷等の農協としての指導方法修得;オビエド)
青果物流通行政	(流通行政全般についての概括研修)
94年度：青果物流通行政	(生産、流通、消費全般にわたる行政指導)
卸売市場運営	(市場流通経営修得による技術幹部育成)
農協指導	(共同出荷・選別調整出荷の修得による幹部育成; コルメナ)
市場情報実務	(流通情報の提供、伝達、活用について)
95年度：卸売市場指導者研修	(市場内モデル販売指導と公正取引の指導)
卸売・小売市場技術指導	(販売・消費に係る幹部への技術指導)
農協指導	(共同出荷の運営、調整出荷指導;オビエド)
集出荷システム	(出荷計画、出荷組織運営管理)

4-1-3 機材供与

機材供与の実績及び利用・管理状況については次表のとおりである。

機材の利用・管理状況表
(160万円以上の機材)

プロジェクト名：青果物流通改善計画

(単位：万円)

供与 年度	番 号	機 材 名 (メーカー名・型式)	価 格	数 量	利 用 (保管) 場 所	利用 状況	管理 状況	備 考 (特記事項)
1990	1	マイクロバス (三菱・L-300)	288	1	農牧経済流通局	B	A	
1990	2	マイクロバス (三菱・L-300)	288	1	農牧経済流通局	B	A	
1990	3	マイクロバス (三菱・L-300)	288	1	アスンシオン市 食品流通管理局	B	A	
1990	4	車輛 (4輪駆動) (三菱・モンテロ)	311	1	農牧経済流通局	A	A	
1991	5	車輛 (4輪駆動) (トヨタ・ランドクルーザーII)	367	1	農牧経済流通局	A	A	
1991	6	車輛 (4輪駆動) (三菱・L-200)	256	1	アスンシオン市 食品流通管理局	B	A	
1991	7	車輛 (トラック) (メルセデス・ ベンツL・1618/51)	499	1	コロネル・オビエ ド農協	B	A	
1992	8	車輛 (トラック) (メルセデス・ ベンツ912/42.5)	294	1	ラ・コルメナ農協	B	A	
1992	9	車輛 (トラック) (三菱キャンター)	340	1	コロネル・オビエ ド農協	B	A	
1992	10	車輛 (トラック) (フォルクスワーゲン)	269	1	コロネル・オビエ ド農協	B	A	
1992	11	フォークリフト	356	2	アスンシオン市 食品流通管理局	B	A	

主要機材の利用・管理・処分状況表
(160万円未満の機材)

プロジェクト名：青果物流改善計画

供与 年度	番 号	機材名(規格・能力)	供与数	処分数	現有数	利用 状況	管理 状況	処分理由等
1990	1	電子自動印刷機 (RISOGRAPH 2500)	1	0	1	A	A	
1990	2	パソコン (IBM PS/2 70-121型)	3	0	3	A	A	
1990	3	日本語ワードプロセッサ	1	0	1	A	A	
1990	4	コピー機 (SHARP 7350)	1	0	1	A	A	
1991	5	コピー機 (SHARP SF-7320)	2	0	2	A	A	
1991	6	ファクシミリ (PANASONIC KX-90)	8	0	8	A	A	
1991	7	ビデオカメラ JVC GR-60U (M)	1	0	1	A	A	
1991	8	空調機 (TOSHIBA SPLIT-717)	1	0	1	A	A	
1991	9	空調機 (TOSHIBA SPLIT-806)	1	0	1	A	A	
1991	10	パソコン (IBM PS/2 80-A16型)	1	0	1	A	A	
1991	11	パソコン (IBM PS/2 30-286型)	1	0	1	A	A	
1991	12	パソコン用印刷機 (EPSON FX-1050)	2	0	2	A	A	
1991	13	パソコン用停電バックアップ装置	4	0	4	A	A	
1991	14	顕微鏡 (NIKON SE)	1	0	1	A	A	
1991	15	日本語ワードプロセッサ CANOWORD N3	1	0	1	A	A	
1992	16	日本語ワードプロセッサ CANOWORD N3	1	0	1	A	A	

主要機材の利用・管理・処分状況表
(160万円未満の機材)

プロジェクト名：青果物流改善計画

供与 年度	番 号	機材名（規格・能力）	供与数	処分数	現有数	利用 状況	管理 状況	処分理由等
1992	17	日本語ワードプロセッサ CANOWORD α85	1	0	1	A	A	
1992	18	日本語ワードプロセッサ	1	0	1	A	A	
1992	19	コンピュータ モデム	7	0	7	A	A	
1992	20	コンピュータ ソフト TANGO	6	0	6	A	A	
1992	21	木箱釘打ち機	10	0	10	B	A	
1992	22	木箱釘打ち機用コンプレッサ	2	0	2	B	A	
1992	23	ファクシミリ	2	0	2	A	A	
1992	24	指導管理テレビモニター	0	0	0	A	A	
1992	25	コンピュータ (DELL 333 P)	5	0	5	A	A	
1992	26	コンピュータ (IBM-950 KD)	1	0	1	A	A	
1992	27	コンピュータ用印刷機 (レーザー) 4030 II	4	0	4	A	A	
1992	28	OHP	3	0	3	B	A	
1992	29	コピー機 (RICOH-FT 4490)	3	0	3	A	A	
1992	30	台秤	2	0	2	B	A	
1992	31	空調機	2	0	2	B	A	
1992	32	オートバイ	1	0	1	A	A	

4-1-4 カウンターパートの配置

カウンターパートの配置及びアスンシオン市関係者の異動状況は、次表のとおりである。

なお、農牧省側のカウンターパートについては、今まで異動はない。個々にばらつきはあるものの、総じてカウンターパートは、以前より主体性と責任感をもってプロジェクト活動に取り組むようになっており、良好と言える。

(1) カウンターパートの配置

氏名	所属・役職	専兼	年齢	学歴	キャリア
WILFRIDO A. ZARATE. G.	農牧省経済流通局 局長	-	42	アスンシオン大学農学部卒	
ROQUE LEGUIZAMON	" 技術普及広報部長	-	39	コリエンテス大学農学部卒 (アルゼンティン)	10
RUBEN MEDINA CENTURION	" 市場情報普及課普及員	兼	34	アスンシオン大学農学部卒	9
NESTOR RAMON AYALA D.	" "	専	27	"	2.5
JOSE ALFREDO ARAUJO. A.	" "	専	28	"	2.5
NELSON R. BENAVENTE A.	" "	専	27	"	2.5
RAFAELA B. DE MARTINEZ	" 市場情報課主任	専	36	"	5
LIDIA G. DE FERREIRA	" 普及員	専	29	"	5
BIANCOTTO	" 広報課主任	兼	30	"	5
ROBERTO KANNONIKOFF	アスンシオン市場 総局長	-	35	大学修士課程終了	1
EDUARDO LATERZA	アスンシオン市中央卸売市場 局長	-	52	大学中退	1.3
ILSE PERALTA	" 指導部長	兼	26	アスンシオン大学農学部卒	0.7
CESAR ROMERO	" 指導員	兼	25	"	0.3
WALTER KURTH	" コンピュータ課長	兼	27	アスンシオン大学	1.2
ZULEMA REYES	" 検査室長	兼	30	" 大学農学部卒	6
FRANCISCO BURGOS	オビエド農協 農牧部 部長	兼	36	アスンシオン大学農学部卒	6
MANUEL ROJAS	" " 技術指導員	専	27	"	0.5
KAZUYA MIYAMATO	コルメナ農協 財務理事	兼	49	農学校卒	6

* キャリア (勤続年数)

(2) アスンシオン市関係者の異動状況

	1991.5	1991.6	1991.11	1992.2	1992.7	1992.8 ~ 現在
市場総局長	-	-	-	F. Kurz	R. Kannonikoff	R. Kannonikoff
市場局長	F. J. Spezini	Jose O. Jara	Jose O. Jara	E. Laterza	E. Laterza	E. Laterza
市場局長代理	-	-	J. Cristaldo	-	-	-
技術指導部長	G. Lopez	C. de Medina	C. de Medina	R. Stewart	-	Ilse Pelarta
技術指導部指導課長	B. Stelatto	B. Stelatto	-	-	J. Speratti	J. Speratti
プロジェクト担当責任者		F. R. Barboza	A. A. Duarte	A. A. Duarte	Z. Jimenez	-

4-1-5 土地・建物等の提供

本プロジェクトは、中央卸売市場・市場情報センター・オビエド農協・コルメナ農協とサイトが多岐にわたっているが、現在のところ、支障は来していない。

両モデル農協については、集出荷場建設のための用地を確保しているところであり、プロジェクト基盤整備事業が実施可能となれば、いつでも取りかかることができるよう用意している。

また、中央卸売市場内で統一伝票・品質規格等を修得させるための研修室の改修、及び同一棟内における卸売と小売の区分を実行するための改造については、計画設計はできているものの、資金難のため実現はされていない。

4-1-6 予算措置

本プロジェクトに係る予算（93年1月から93年7月まで）の執行状況は、以下のとおりである。

単位：Gs

費 目	農 牧 省	アスンシオン 市 管 理 局	コルメナ農協	オビエド農協
旅費・日当宿泊費	2,697,000		339,100	
燃料代	1,914,960			5,006,900
供与機材の保守管理費	1,654,900	459,000		3,744,093
事務用品費	298,600			
通関手数料	0			756,755
車輛保険料	42,000,000			
備人費	0	2,628,000		4,101,230
会議費	0		1,222,000	
その他	309,929			2,182,620
	48,875,389	3,087,000	1,561,100	15,791,598

農牧省は、事務的に予算の執行が遅く、今後も改善するよう求めていく必要がある。また、両モデル農協については当プロジェクトへの積極的な協力姿勢がうかがえ、歓迎すべきことである。とりわけオビエド農協については、供与機材の保守管理について迅速に対処しており、プロジェクトの進行を効率的に進めるのに役立っている。

4-2 技術移転実績

(1) 青果物集出荷システム

パラグアイ国における先進的な農協として、ラ・コルメナ農協（日系人）、一般的な農協として、コロネル・オビエド農協をモデルに、青果物集出荷の推進に関連した活動を行っている。カウンターパートは5名（農牧省 2、ラ・コルメナ農協 1、コロネル・オビエド農協 2）が配置されており、調査、指導等の諸活動が適時、適切に推進されつつある。

① カウンターパートに対する技術移転

この部門の技術は、主に生産者の組織化、共同化、組織の運営改善、集出荷の手順、選別基準の策定とその順守、有利販売の方策等である。このため、将来における青果物流通全体の基本的なあり方、改善方策等を明確にした上で推進するとともに、生産者等の信頼を得ることも極めて重要である。

このようなことから、まず課題ごとの背景、特性、対応方法、留意点等をできるだけ詳細に説明するとともに、一定の実践を経た段階では、ヒントを与えつつ自ら企画、手順、対応策等を策定するように誘導し、共に考える方式が取られている。

また、責任体制と業務分担を明確にするため、農牧省のカウンターパート2名の担当をそれぞれの農協に分離し、この両者を通して農協のカウンターパートを指導することとしている。

なお、パラグアイ国の農村においては共同で物事を推進する経験が少ないところに、現地の農村地帯では、スペイン語ではなくガラニー語が中心となっているため、相互の信頼関係を得ることが基本となる農家への説明・指導の際の言葉の障壁が厚く、通訳の確保に苦勞をしているようである。

しかしながら、特にコロネル・オビエド農協管内においては、農協、コミッティ、生産者と各段階別に木理（きめ）細かい調査、指導、話し合い等が粘り強く熱心に行われた結果、共同集出荷体制が生まれた。

一方、ラ・コルメナ農協については、共同集出荷の経験も長く、果物を中心に日系農協中央会の卸売部門を通じて販売している。しかし、パラグアイ国における高級果実はスペイン等の外国産に押されており、「メルコスール」（ブラジル、アルゼンティン、パラグアイ、ウルグアイの4か国が1994年を目標に共同市場を形成する予定）に対応した外国産品との対抗策の推進が課題となっている。このため、ラ・コルメナ農協については、より品質の高い青果物の生産と流通合理化への誘導を中心に指導が行われつつある。

② 共同集出荷等の推進

コロネル・オビエド農協における共同集出荷は、協議、研修等を経て11月11日の試行を皮切りに11月20日から本格的に開始されている。出荷先は中央卸売市場において本格的卸

売を行っており、最大で、信頼性も極めて高い日系中央会（主に日系農協の出荷品を取り扱う）である。同会が定めた出荷規格に基づき選別したものを同会の貸し容器（木箱）に入れ、供与トラックの集出荷ルートにより週3回（月、水、金）出荷している。

販売結果は伝票で通知があるので安心して販売を委託できる。しかも、従来のお荷に比べると選別は厳しいものの、従来よりもかなり高く売れる上に、運賃は安いので、農家の手取りは多い。また、ラジオ無線による販売情報も組織化の成果として生産者に高く評価されている。このように組織化の効果と共同集出荷の結果が目に見える利益として生産者に理解されたことから、日々、参加者、集荷量ともに増加した。なお一時、販売代金の精算事務が遅いことを主な要因として集荷量が減少したものの、農協による立替え払い制度の導入により、その後は月々順調に増加しつつある。

しかし、まだ始まったばかりであり、日本のような先進的な状況に比べると、農協及び生産者段階とも改善すべき課題は多い。

一方、ラ・コルメナ農協においては、従前から共同集出荷が行われているが、流通改善と併せて、より高価格帯への参入を狙いとし、高品質生産のための技術指導等も行われつつある。

両農協とも共同集出荷量は、今後更に増加するとみられることから、卸売市場の業者の組織的な販売対応が大きな課題となると思われる。したがって、このための卸売業者の組織化の指導対策を早期に推進することが必要であろう。

(2) 情報提供システム

プロジェクトの共通の柱であり、事業の主たる目的である、共同集出荷及び統一伝票を推進する中で、以下に示す施策を行うことにより、徐々にではあるが、生産者、農業協同組合、卸売業者間における流通の架け橋として位置付けられ、事業を側面から支援することにより、情報提供システムとしての成果をみせ始めている。

① 主要国内市場の市況情報の集配信

各市場に配置された調査員が、該当の市場に対し調査を行った売買価格情報を、集計・整理した結果を、FAXによりSIMAに対し情報の送信を行っている。

SIMAでは各市場から送られてきた売買価格を分析・整理するとともに、調査員が行った市場の動向をコメントとして付与し、パラグアイ国の市況情報として、全国に網羅されたラジオ局を通じて公表している。特にモデル農協においては、既設のFAXを利用してより細かい市況情報を受信し、その内容を分析し、自農協のコミッティに対し無線機を通じて適切な情報提供を行うことにより、共同集出荷の推進に大きく貢献している。

② 流通に係る事務処理の簡素化

流通過程に発生する情報を、有効かつ効果的に利用し、精算事務等を迅速に処理するために、卸売業者・農業協同組合等では、積極的にコンピュータの導入が図られつつある。

しかし、技術協力の最中でもあるためか、現在提供している情報は、全国画一的な情報であるために、情報を受け恩恵を受けるべき農協においては、必ずしも情報から発生する効果が満足に表れていない。情報を受ける側の立場に立った木理（きめ）細かい対応がおのずと必要である。

(3) 卸売市場運営

1) 統一伝票（送り状、販売原票、売買仕切書等）の導入の促進

アスンシオン市中央食品卸売市場（DAMA）には110の青果物を扱う卸売業者（資料1）が存在し、市場取引のすべてが相対取引で行われている。また、日系農協中央会等一部の卸売業者を除いて零細規模が多く、これまで帳票類を使用しないで取引を行っている業者がほとんどであったことから、産地出荷者側においては市場取引の不透明さが卸売業者に対する不信感ともなっている。

このため、中央卸売市場の機能を強化し、市場運営全体の改善を図る手法として、統一伝票の導入・推進を基本として、これまで検討を行ってきた。

具体的活動としては、統一伝票の導入定着化の促進のため、全卸売業者を対象とした実態調査とその結果報告会を開催するとともに、統一伝票に対する説明会を随時開催し、これらを通じて卸売業者の理解を得た結果、本年8月9日から16の協力業者により第1次統一伝票導入テスト（資料2）を実施。さらに、9月下旬から20業者（資料3）を加え、36の協力業者を対象として第2次テストを予定している。

2) 市場情報の提供

① DAMA正門に設置したトラックスケールにより、搬入時の物品総量、品目等の確認調査を実施（資料4）、② 開設者の価格調査員が約60品目の卸売価格について卸売業者から聴き取り調査を実施（資料5）、③ 入手したこれら市場情報を集計の上、市場情報センター（SIMA）に対してラジオ放送用にFAXにより提供している。

しかしながら、市場への物品搬入の際に、バラ積みが多いこと等によって販売に適さないものも入荷とされていること、価格についても実際の取引価格がそのまま反映されているかどうか疑問視されること、などの問題がある。

3) このほか、農業使用状況実態調査を行い、「農業の正しい使用法」パンフレットの作成・普及活動、市場業務規程の改正作業等の活動を実施している。

4) 今後は、これまでの成果を踏まえ、更に精度の高い市場情報の収集・分析・提供、公正な市場取引の確保等のために、統一伝票の導入定着化について一層の促進指導を行う必要があると考えられる。

(資料1) 『アスンシオン市中央食品卸売市場』 青果物卸売業者一覧表 (1993.9 現在)
(110 社)

<u>NOMBRE</u> 卸売業者名	<u>BLOQUE</u> <u>DEPOSITO</u> 店舗番号	<u>RUBRO COMERCIALIZADO</u> 主要取扱品目
1)- Ramón Villalba	A-3	Frutas y Locote
2)- Marciano Villalba O.	A-4	Frutas
3)- César A. Vargas C.	A-5	tomate-papa-locote-cebolla.
4)- Neri F. Sosa	A-6	Frutas - tomate.
5)- Sergio Rodriguez	A-7	Frutas
6)- Victoria González	A-8	Frutas-locote-cebolla
7)- Porfirio Berutti	A-9	Frutas-tomate-locote
8)- Nestor Robadin-AgustinC.	A-10	Frutas-locote-tomate.
9)-Felipe Lopez	A-11	Frutas-locote-tomate
10)-Viviana Jara	A-12	Frutas-locote-tomate.
11)-Cristino Cabrera	A-13	Cebolla-papa-tomate-locote.
12)-Daniel. Lopez	A-14	Cebolla-tomate-zanahoria
13)-Porfirio Escobar	A-15	Tomate-cebolla-locote
14)-Leoncio Arrua	A-16	Tomate-loc.zanahoria-papa
15)-Luis Ranulfo González	A-18	tomate-loc.-zanahoria
16)-Hermegildo Sosa Garcia	A-19	Tomate-loc.-zanahoria
17)-Eladio Aranda	A-20	Tomate-loc.-zanahoria
18)-Geronimo Baéz Cantero	A-21	Cebolla - Zanahoria
19)-Mariano Rodriguez	A-22	Tomate-Locote-zanahoria
20)-Carlos M. Franco	A-23	Cebolla-papa-tomate-locote
21)-Emigdio Rojas	A-25	Tomate-locote-zanahoria
22)-Luis Guillen	A-26	Tomate-locote-papa-zapallo.
23)-Primitivo Figueredo	A-27	Cebolla-papa-tomate
24)-Lucio Pereira	A-28	tomate-papa-cebolla-locote
25)-Esteban Benitez	A-29	Cebolla-tomate-locote
26)-Mauro Taboada	A-30	Locote-tomate-zapallo
27)-Francisco Taboada	A-33	Zapallo-tomate-locote
28)-Alicia Yegros de Fernandez	A-34	Cebolla-tomate-locote
29)-Marcial Ruíz Díaz	A-35	Tomate-locote-cebolla
30)-Juan Dominguez	A-36	Cebolla-papa-tomate-ajos.
31)-Justino Gaona	A-37	Tomate-zanahoria-zapallo.
32)-Isidro Maidana Miranda	A-38	Tomate-zapallo-zanahoria
33)-Wilfrido Sosa	A-39	Tomate-locote-zanahoria
34)-Felipe Aguilera	A-40	Cebolla-repollo-zapallo
35)-Alejandrino Guillen	A-41	Repollo-Zapallo-tomate
36)-Lorenzo Martinez	A-42	Tomate-locote-zanahoria
37)Juan Villasboa	A-43	tomate-zapallo-papa
38)-Hermenegildo Osorio	A-44	Zanahoria-tomate-remedio
39)-Modesto Dávalos	A-45	Tomate-papa-cebolla
40)-Oscar Villasboa	A-46	Zanahoria-papa-tomate

<u>NOMBRE</u>	<u>DEPOSITO</u>	<u>RUBRO COMERCIALIZADO</u>
41)-Germán Marin	A-47	Tomate-locote-cebolla
42)-José Acosta Alarcon	A-48	Zapallo-repollo-papa
43)-Cooperativa Nikkei	A-49	Tomate-huevo-locote
44)-Victor Mashara	A-55	Tomate-Acelga-berenjena
45)-Coop. Arroyense	A-58	Zapallo-pimiento-banana
46)-Coop. Universal	A-59	Tomate-batata-zapallo
47)-Carlos Céspedes	A-60	Zapallo-locote-tomate
48)-Citrus Paraguaya	A-63	Citricos-pimiento-zap.
49)-Pedro Gómez	A-65	Frutas
50)-Ismael Rojas	A-66	Banana
51)-Gustavo A. Nuñez	A-67	Banana.
52)Espiridion Galeano	A-68	Banana-piña
53)-Ramona de Garay, Rubén L.	A-70-71	Frutas-ajo-cebolla.
54)-Rogelio Ovelar	A-72	Banana
55)-Basilicia López	E-1	Frutas
56)-Andrés Amarilla	E-2	Frutas
57)-Pedro López	E-3	Frutas
58)-Bartola Sosa de López	E-4	Frutas
59)-Bernardo Lombardo	E-5	Frutas
60)-Dionicia Gimenez de Sosa	E-6	Frutas
61)-Gregorio Sosa López	E-11	Frutas
62)-Celsa Sanabria, Juan López	E-19	Banana
63)-Agustin Franco	E-20	Banana
64)-Esteban Mario Salanueva	E-22	Banana
65)-Felipe Ignacio Garcete	E-23	Frutas
66)-Pedro Juan Pereira	E-24	Frutas
67)-Jorge Ferreira	E-26	Banana
68)-Sergio Ramón Guerrero	E-27	Frutas
69)-Vicenta Vazquez de B.	E-28	Banana
70)-Luis Ernesto Vera	E-29	Banana
71)-Juan A. Ramirez Valdez	E-31	Frutas
72)-Amado Ovelar	E-32	Frutas-climatizadora
73)-Sabino Peralta Sosa	E-34	Banana
74)-Pastor Acosta	E-35	Frutas
75)-Virginio Colman	E-38	Frutas
76)-Epifania Ramirez de López	E-37	Frutas
77)-Agridipino Ferreira	C-3	Mandioca - batata
78)-Benicio Aranda Amarilla	C-4	Mandioca-batata.

<u>NOMBRE</u>	<u>DEPOSITO</u>	<u>RUBRO COMERCIALIZADO</u>
79)-Maximo Amarilla	C-6	Mandioca-batata
80)-Alejandro Saldivar	C-8	Mandioca-batata
81)-Victorino Marecos	C-12	Mandioca-batata
82)-Tito F. Decoud	C-14	Mandioca-batata
83)-Pedro Fleitas Nuñez	C-18	Mandioca-batata
84)-Andrés R. Maiz Ruiz Díaz	C-19	Mandioca-batata
85)-Ramón Aveiro	C-24	Mandioca-Batata
86)-Martín Samaniego	C-30	Mandioca-batata
87)-Benigna Galeano	C-32	" "
88)-Eufracio López	C-35	" "
89)-Santiago López/Marcos G.	C-36	" "
90)-Ramón Riquelme	C-6/7	" "
91)-Pedro J. Fernandez	C-3	Papa-ceb.-zanahoria
92)-Edita Cacerez	C-4	Papa-cebolla-locote
93)-Ramulfo Espinola	C-9	papa-cebolla-ajo
94)-Manuel R. Jara	C-12	papa-cebolla
95)-Daniela Santa Cruz	C-13	papa - cebolla
96)-Mario Diaz Sosa	C-37	papa -cebolla
97)-Petrona C. Alvarez	C-38	papa -cebolla-ajo
98)-Silvestre Monges	C-43	papa-ceb.-zanahoria
99)-Dario R. Morinigo	C-44	papa-cebolla-ajo
100)-Gustavo G. Martínez	C-45	papa-cebolla-ajos
101)-Modesto Meza y José N.	C-58	" " "
102)-Marcelina Martinez	C-63	" " "
103)-Hugo Garay	A-1	Frutas y Hortalizas
104)-Ernesto Lage	A-2	" "
105)-Agustin Delgado	A-17	" "
106)-Lino Riveros Garcia	A-31	" "
107)-Esterio Lopez Mena	A-32	" "
108)-Juan Ramón Rodriguez	E-21	" "
109)-Antonio Saad Machuca	E-30	" "
110)-Virgilio Bobadilla	E-36	" "

2. 統一伝票導入第1次テスト協力卸売業者名簿
(1993年8月9日より実施中)

16 Mayoristas colaboradores

1) - Ramonita de Garay	Bloque	A	(Frutas)
2) - Hugo Garay	Bloque	A	"
3) - Néstor Robadín	Bloque	A	"
4) - Ramón Lombardo	"	E	(naranja, banana)
5) - Francisca Sosa	"	C	(hortalizas)
6) - Elisabeth de Toledo	"	C	"
7) - Mirian Núñez	"	C	"
8) - Elena Vda. de Centurión	"	C	"
9) - Fidelina Centurión	"	C	"
10) - Ofelia Orellana	"	C	"
11) - Mónica de Mario	"	C	"
12) - Pedro Gómez	"	C	"
13) - Antonio Ovelar	"	C	(mandioca)
14) - Ruben Figueredo	"	C	"
15) - Tito Francisco Decout	"	C	"
16) - Alejandro Saldívar	"	C	"

Factura unificada para mayorista y productor aplicarán en el Abasto

El Mercado Central de Abastecimiento implementará, próximamente, un sistema de "Facturación Unificada", que consiste en la utilización de boletas triplicadas a ser usadas entre los productores y los mayoristas, con el fin de lograr el mejoramiento de la comercialización de las frutas y las hortalizas dentro del Mercado de Abasto.

Con este procedimiento, la administración de dicha dependencia municipal podrá co-

nocer el movimiento diario de dichos productos, que, a su vez, servirá como datos estadísticos para la implementación de políticas de producción hortifrutícola.

De acuerdo a las autoridades del Mercado de abasto, el uso de esta boleta o factura evitará la explotación de los mayoristas a los productores. Estimarón que las transacciones serán claras y controladas.

Este sistema será ampliado, con el tiempo, en todos los de-

más productos que se comercializan dentro del Abasto.

La Ing. Ilse Beatriz Peralta, del Departamento Técnico Operativo de la Dirección de Abastecimiento de la Municipalidad de Asunción (DAMA), sostuvo que una de las constantes quejas de los productores es que los mayoristas son usureros.

Agregó: "Se aprovechan de ellos pagando menor precio de lo estipulado; son injustas negociaciones. Entonces, a tra-

vés de esta factura se podrán realizar transacciones más claras".

Finalmente, resaltó que con estas nuevas facturaciones, ambas partes (productor y mayorista) tendrán respaldo documentado de los rubros entregados para su posterior liquidación, en base a lo remitido, y también facilitará conocer los momentos o épocas de mejor precio para planificar su producción.

中央卸売市場では卸売業者と生産者のために

統一伝票を使用する

a b c 紙 1993. 8. 11

中央卸売市場では、まもなく青果物流通改善のため、生産者と卸売業者との間において3枚綴りの統一伝票を使用することになった。

この方法（手順）が導入されると、市場管理局として、その日の入荷量、価格の動きが正確に把握出来るとともに、同時に青果物生産に役立つ各種統計データや利用価値のある諸情報が提供されることになる。

中央卸売市場の責任者によると、この伝票が使用されると、生産者に対する卸売業者からの不明朗な取り引きを防ぐことになり、取り引きが正常化して管理局としても市場をよりよくコントロールしやすくなる。

なお、のシステムは、中央卸売市場内で販売されるすべての青果物を対象に適用、拡大される。

中央卸売市場技術指導部のイルセ氏は、「中央卸売市場に対する生産者の一卸売業者は生産者をくいものにしていて」という苦情、また、卸売業者は、生産者達を利用して不公平な取り引きをしているという批判があるので、統一伝票を使用することによって透明な取り引きが行われることになる」と付け加えた。

代金決済は、この伝票使用によって生産者と卸売業者は両者とも伝票が裏付け資料（証明書）となって、品目ごとの送り状をもとに仕切り書によって支払われることになる。

また、多種類の青果物のそれぞれについて高価格の時期が把握できるので、計画生産をすることも可能となる。

(資料 3)

統一伝票導入第 2 次テスト協力卸売業者名簿

(1993年 9 月13日より実施予定)

1. -	NIKKEI	A - 52 (49~54)
2. -	PRO AGRO	A - 55 ~ 57
3. -	UNIVERSAL	A - 59
4. -	ARROYENSE	A - 66
5. -	PEDRO LOPEZ	E - 3
6. -	HERMES SOSA	A - 19
7. -	DARIO TABOADA	A - 33
8. -	PORFIRIO ESCOBAR	A - 15
9. -	LUIS GONZALEZ	A - 18
10. -	NELLY JARA	A - 41
11. -	PORFIRIO BERUTTI	A - 9
12. -	LUCIO ROBLES	C - 33
13. -	MARTIN SAMANIEGO	C - 30
14. -	CARLOS MACHOQUI	C - 29
15. -	RAMON ALARCON	C - 28
16. -	JUSTO VARGAS	C - 23
17. -	RAMON AVEIRO	C - 24
18. -	EUGENIO LEGUIZAMON	C - 9
19. -	ISIDRO MAIDANA M.	A - 38
20. -	COOP. ARROYENSE	A - 58

(資料 5) 卸売価格調査票

FECHA: ___/___/___

DIA : _____

RESP.: _____

D. A. M. A.
RECOLECCION DIARIA DE PRECIOS

Toma N°: 001

Hoja N°: 001

CODIGO PRODUCTO/VARIEDAD HAC UNID.	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	CAL/DFE
HORTALIZAS HOJAS									
1.01.1 ACELGA CHINA	PY	DOC							
1.02.1 ACHICORIA CHINA	PY	DOC							
1.03.1 ALBAHACA	PY	DOC							
1.04.1 APIO	PY	DOC							
1.05.1 BERRO	PY	DOC							
1.06.1 CEBOLLA HOJA	PY	DOC							
1.07.1 CILANTRO	PY	DOC							
1.08.1 ESCAROLA	PY	DOC							
1.09.1 ESPINACA	PY	DOC							
1.09.2 ESPINACA NEGRA	PY								
1.10.1 LECHUGA BOS	PY	DOC							
1.10.3 LECHUGA CRI	PY	DOC							
1.10.4 LECHUGA CRI	PY	DOC							
1.11.1 OREGANO	PY	DOC							
1.12.1 PEREJIL	PY	DOC							
1.13.1 PUERRO	PY	DOC							
1.15.4 REPOLLO 1A.	PY	KILO							
HORTALIZAS FRUTAS									
2.01.1 BEBENJENA	PY	KILO							
2.02.1 CALABAZA	PY	BOL							
2.03.1 PEPINO	PY	KILO							
2.04.1 PIMIENTO	BR	KILO							
2.04.4 PIMIENTO 1a.	PY	KILO							
2.05.5 TOMATE LISO 1a	PY	KILO							
2.05.7 TOMATE SANTA	BR	KILO							
2.05.8 TOMATE SANTA	AR	KILO							
2.05.9 TOMATE SANTA 1a.	PY	KILO							
2.06.1 ZAPALLO	PY	CAJ							
2.07.1 ZAPALLO	BR	KILO							
2.07.2 ZAPALLO	PY	KILO							
RAICES, BULBOS, TUBERCULOS									
4.01.1 AJO	AR	BOL							
4.01.2 AJO	PY	BOL							
4.01.3 AJO	PY	RIS							
4.01.4 AJO	AR	RIS							
4.02.1 BATATA	PY	KILO							
4.03.2 CEBOLLA	AR	KILO							
4.03.3 CEBOLLA 1a.	PY	KILO							
4.03.5 CEBOLLA COLORAD	PY	KILO							
4.04.1 MANDIOCA 1a.	PY	KILO							
4.05.1 NABO	PY	KILO							
4.06.1 PAPA	AR	KILO							
4.06.3 PAPA 1a.	PY	KILO							
4.07.1 RABANITO	PY	DOC							
4.08.1 REMOLACHA	BR	KILO							
4.08.2 REMOLACHA	PY	KILO							
4.09.2 ZANAHORIA 1a.	AR	KILO							
4.09.3 ZANAHORIA 1a.	PY	KILO							

FECHA: / /
 DIA :
 RESP.:

D. A. M. A.
 RECOLECCION DIARIA DE PRECIOS

Tona N': 001
 Hoja N': 002

CODIGO	PRODUCTO/VARIEDAD	NAC UNID.	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	CAL/DFE
GRANOS Y LEGUMBRES											
5.01.1	ARROZ	AR KILO									
5.01.2	ARROZ	PY KILO									
5.02.1	ARVEJA	PY KILO									
5.05.1	HABILLA	PY KILO									
5.06.1	MAIZ BLANCO	PY KILO									
5.06.2	MAIZ COLORADO	PY KILO									
5.06.4	MAIZ PIC	PY KILO									
5.07.2	MANI	PY KILO									
5.08.1	POROTO	PY KILO									
5.08.2	POROTO MANTECA	PY KILO									
5.08.3	POROTO PEKY	PY KILO									

F R U T A S

6.01.1	BANANA CARAFE	BR CAJ									
6.01.2	BANANA CARAFE 1a.	PY CAJ									
6.01.6	BANANA DRO	BR CAC									
6.02.2	CIRUELA	AR CAJ									
6.03.1	DURAZNO	PY KILO									
6.04.1	FRUTILLA	PY KILO									
6.05.3	GUAYABA	BR CAJ									
6.06.1	LIMON JAPONES	PY 100									
6.06.3	LIMON PALERMO	PY 100									
6.06.5	LIMON SUTIL	PY 100									
6.07.2	MANON	PY CAJ									
6.07.4	MANON	BR CAJ									
6.08.1	MANDARINA	PY 100									
6.09.1	MANGO	BR CAJ									
6.09.2	MANGO INSERTADO	PY CAJ									
6.10.1	MANZANA	AR CAJ									
6.11.1	MELON	BR CAJ									
6.11.5	MELON JAPONES	PY CAJ									
6.12.1	NARANJA	BR 100									
6.12.2	NARANJA	PY CAJ									
6.12.5	NARANJA 1a.	PY 100									
6.12.7	NARANJA ONB	PY 100									
6.13.1	PELON	AR CAJ									
6.14.2	PERA	AR CAJ									
6.15.4	PIZA ABA 1A.	PY YUNTA									
6.15.5	PIZA CAY	BR CAJ									
6.16.2	POMELO	PY 100									
6.17.2	SANDIA	BR UNI									
6.18.1	UVA BLANCA	PY KILO									
6.18.2	UVA BLANCA	AR CAJ									
6.18.3	UVA BLANCA	BR CAJ									
6.18.4	UVA NEGRA	PY KILO									
6.18.5	UVA NEGRA	AR CAJ									
6.18.6	UVA NEGRA	BR CAJ									
6.18.7	UVA ROSADA	PY KILO									
6.18.8	UVA ROSADA	AR CAJ									
6.18.9	UVA ROSADA	BR CAJ									
6.19.1	AGUACATE	PY DOC									
6.20.1	NISPERO	BR CAJ									

5. 軌道修正の必要性

当初の技術協力課題及び詳細年次計画の内容は、青果物流の理想的な将来像を目指して、その改善のための諸課題と対応策のすべてを網羅しすぎているきらいがあり、5年間で、この内容のすべてを推進することは困難と考えられる。また、各分野が協力し合って重点的に推進する目標（柱）が必ずしも明確ではなかったようにみられる。このようなことから、各分野の連携により青果物の流通改善を目指すことよりも、単独に推進している面が、やや強いようであった。

このため、本プロジェクトの実効性を高めることも考慮し、生産者支援の視点から、青果物の効率的な流通システムとして、共同集出荷の推進を今後の技術協力の中心課題とするとともに、残された期間等を考慮して、活動内容も、この課題に関するものを主体とし、緊急を要しないもの等は削除して、可能な限り各部門の連携により推進・解決すべき内容に整理することとした。

各分野ごとの主な内容等は、次のとおりである。

（詳細はミニッツ参照。）

5-1 青果物集出荷システム

コロネル・オビエド農協については、共同集出荷の拡大と定着を狙いとして、農協の推進指導体制の強化を図るとともに、より効率的・効果的な共同集出荷推進について引き続き重点的に指導する。組織的、統一的な選別の推進と併せて、共同集出荷に必要な施設・機械類等の整備、精算事務処理や農家台帳の作成等に係るコンピュータの利活用等について指導する。

一方、ラ・コルメナ農協については、輸入品等にも対抗できるような良品生産、より高度な品質規格基準と選別手段並びに低温出荷体制の整備等について検討するとともに、その対応策等について指導・推進する。

また、共同集出荷の普及拡大に伴い販売先の拡大及び有利販売が大きな課題となることが予想されることから、市場部門等と協力して販売先の多元化を図る必要がある。

。コロネル・オビエド農協の共同集出荷実績（'92年11月～'93年8月）

単位：kg

品 目	92/11	12	93/1	2	3	4	5	6	7	8	累 計
キ ャ ベ ッ	38,775	44,675	7,550	2,500	11,870	15,007	25,973	43,760	40,502	60,298	290,910
ト マ ト	28,620	65,380	7,820		11,120	15,993	25,080	32,563	9,118	969	196,663
ピ ー マ ン	855	6,300	3,900	12,480	410	750	2,249	1,710	630	300	29,584
赤 か ぶ	5,310	12,150	210				2,375	275	2,360	2,300	24,980
か ん し ょ		12,440	16,170	6,165				350		3,125	38,250
た ま ね ぎ	1,700	5,050	375								7,125
に ん じ ん		1,625	2,675	300						1,000	5,600
か ぼ ち ゃ (大)	940	6,870	4,400	500	9,340	10,730	2,700	2,125	6,760	650	42,015
” (小)				910		870					1,780
き ゅ う り		280				108					388
な す				70							70
ば れ い し ょ	1,150									750	1,900
マ ン ジ ョ カ				900			150	12,620	36,990	32,375	83,035
カ リ フ ラ ワ ー									405		405
い ち ご										2	2
メ ロ ン		1,500									1,500
す い か					100			100			200
バ ナ ナ				3,546			13,685	15,955	11,235	17,605	62,026
オ レ ン ジ (大)							1,140	3,900	7,120	17,220	29,380
” (中)							40	3,273	3,580	5,860	12,753
み か ん							300	180	760		1,240
パ パ イ ヤ							140	540			680
マ ン ゴ										40	40
と う も ろ こ し					900	276	1,751	160			3,087
い ん げ ん 豆 (小)						665					665
” (白大)							100	165			265
え ん ど う 豆										160	160
落 花 生										750	750
合 計	77,350	156,270	40,100	27,371	33,740	44,399	75,683	117,676	119,460	143,404	835,453

注：'93年1月から2月集荷量は、出荷先からの代金精算が30日間も要したため個人出荷に戻り減少した。しかし、巡回討議等により販売代金前払い（貸付け）の対応策を講じたことから、集荷量は徐々に回復した。

また、7月是一部に霜害が発生したこと等により、予定より集荷量が少なかった。

5-2 情報提供システム

(1) 実施運営上の問題点

情報提供部門で特に留意しなければならないことは、流通関係者が日常の業務を行っていく上において、如何にスムーズに業務を遂行できるように側面からサポートするか、その結果、青果物の流通を行うための、縁の下の力持ちとして意識され、かつ、地位を確保できるかである。

これらを為し得るために、現在抱え、対処すべき問題点を、以下の三つの視点から浮き彫りにした。

① 収集・分析・提供項目の多様化

現在収集し分析され提供されている情報は、市場における売買価格であり、これらを分析し、加工を行っている。

生産から消費までの過程で必要とする情報は、現在提供している売買価格のみならず、農業を行う上で必要とする気象情報、市場上場数量、卸売業者にとっては荷受けの戦略を打ち立てるための気象情報、消費者嗜好情報、イベント情報等、また、小売店においては市場上場数量、生鮮食料品輸入情報、イベント情報等であり、各々の立場に立ち、時期・場所・方法を考慮した木理（きめ）の細かい情報提供が必要である。

② 情報に対する信頼性の向上

SIMA はパラグアイ国における青果物に関する市場の情報を、国として収集・分析・提供する唯一の機関である。

将来、生産者、農業協同組合、卸売業者、消費者等流通関係者が各々の立場で生産調整、出荷調整、荷受け計画、精算処理、購入計画等青果物の流通を行う上で無くてはならないものとして位置付けられた時に、新たに浮上してくる課題としては、収集・分析・提供を行う情報に対する信頼性の向上である。

情報の発生から消費までの各セクションにおいて、チェック表を利活用し、自セクションから情報を提供する前に、でき得る限りの対策を行い、チェック機能、チェック体制を踏まえたシステ全体の見地から見直しが必要である。

また、誤りを発見した際には、その被害を最小限に食い止めるリカバリー対策、再発防止策の検討・実施を行うことが必要である。

③ 生産者等を意識した情報提供手段の推進

本プロジェクトの目的は、生産者を含めた農業協同組合、卸売業者、市場開設者等に対する青果物の流通改善を行うもので、情報提供システムとして、これら各部門に対する活性化を、側面から支援するものでなくてはならない。とくに、パラグアイ国の基幹産業である農業を支えている生産者は、計画的な生産・出荷等が行われず、また、自分が作った

作物の売買価格も的確にとらえておらず、流通関係者の中で一番活性化が遅れている部門でもある。

本プロジェクトにおいて、共同集出荷を推進するためには、農業の源である生産者を含めた農業協同組合自体が活性化し、自ら計画的な生産・出荷等を行うようにしなければならない。そのために、情報提供システムとしては、生産者を含めた農業協同組合自体が活性化を目標としたニーズに即した情報、提供手段、提供場所等を踏まえ、木理（きめ）細かい指導が必要である。

(2) 計画変更の事項と内容

情報提供システムとして、前項(1)「実施運営上の問題点」に明記した内容を踏まえ、モデル農協における共同集出荷及び統一伝票の推進、あるいは卸売市場の運営改善を側面から支援しつつ、国内青果物の流通改善に資する情報提供システムの整備を行うために、今後取るべき活動方針及び内容を以下の3点の視点から整理した。

① 効果的な情報提供システムの策定

共同集出荷及び統一伝票の推進の目的は、本プロジェクトに関与する生産者を含めた農業協同組合、卸売業者、市場開設者等流通関係者の一層の活性化である。その目的を達成するための効果的な情報提供システムの構築が必要である。

また、市場開設者は自市場で業を営んでいる卸売業者の適切な経営指導を行う必要があり、あるいは農業協同組合は自組合員の生活向上の指導を行う必要があるなど、他機関と密接な関係が結ばれて日常の業務が行われている。情報提供システムとして、国内青果物の流通改善に資するためには、自セクションが情報提供システムの中で、どのような位置を占めたいのか、あるいは関係各機関に対し適切な指導をするために、情報提供システムがどうあるべきか、情報の発生から消費までを考慮して検討を行うことが必要である。

なお、情報提供システムを効果的に、かつ永続的に利活用することを考慮し、外部要件の変動にも耐え得る弾力的なシステムの変動にも留意する必要がある。

② 情報提供システムの利用技術の指導

情報提供システムを構築する上において、最も考慮しなければならない事柄は、何の目的で、誰のために構築したシステムであるかという点を常に意識していることであり、費用対効果を最大限に活かしきるかである。そのことから、情報提供システム受益者を考慮しつつ、将来展望を念頭に置きつつ、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク構成を随時見直し、必要であれば路線の軌道修正が必要である。

また、構築した情報提供システムを効率よく活かすための鍵を握っているのは、システムに関与する運用者である。システムと人間との接点をとらえ、人間のためのマン・マシン

インタフェースを考慮した効率的であり、労働安全衛生を考慮した運用を推進することが必要である。

③ 提供する情報の集計・分析技術の指導

青果物の生産から消費までに発生する情報を有機的に活用し、青果物流通改善に最大限寄与することが情報提供システムの使命である。

生産から消費までに発生する出荷量、荷受量、売買価格、気象情報、イベント情報、嗜好情報等各種情報について、提供時期、提供方法、提供場所を考慮し、関係機関の立場で分析・加工し、最適な形で提供できるようにすることが必要である。

現在、流通過程の中で、モデル卸売業者の精算事務の処理に大きな時間を占めており、流通改善を推進する上での大きな障壁となっている。コンピュータの導入、業務処理プログラムの改良、運用体制の見直し、流通形態の見直し等の対策を講じることにより、流通改善を図りつつ、本プロジェクトを支援することが必要である。

5-3 卸売市場運営

(1) 実施運営上の問題点

- 1) モデル農協が安心して販売を委ねられる卸売業者を育成するため、伝票制の導入・定着化が図られ、信用力の高い卸売業者をモデル卸売業者として選定し、選別された共同集出荷物品について適正な評価と販売努力を指導し、共同集出荷物品が市場において有利に販売されるよう指導する。

このことにより、産地側でも選別出荷が促進され、信頼性の高い卸売業者に対して出荷する方向にシフトすることになり、卸売業者間で集荷・販売競争が行われ、生産出荷物の適正評価及び他の卸売業者への統一伝票の導入定着化、適正な取引が促進されるものと思われる。

また、将来的には、比較的大規模経営を行っている日系農協中央会との競争関係が保てる規模の卸売業者を育成することも重要であり、既存の卸売業者の組織化についても検討する。

- 2) すべての卸売業者に統一伝票が定着すれば、DAMAにおける品目別取扱量、取扱金額の精度の高いデータとしてSIMAに提供できるとともに、これらデータを蓄積し、分析することによって市場統計情報として随時利活用できるシステムが確立される。
- 3) 市場業務規程の遵守指導を推進するとともに、上記の活動を推進することによって、市場運営の改善が図られ、中央卸売市場としての信頼が高まるものと考えられる。
- 4) これらを踏まえ、共同集出荷及び卸売市場の運営改善に資するため、モデル卸売業者を主たる対象として、次の事項について指導を行う。

- ① 統一伝票の導入定着化の促進と精度の高い市場情報の提供について検討する。
- ② モデル卸売業者の選定と共同集出荷品の有利販売が可能となる条件整備を検討する。
- ③ 計画的生産・集出荷を実行するため、モデル卸売業者とモデル農協の協議について検討する。
- ④ 精度の高い情報とするため、産地・需要者と共同して調査対象品目の適正な取引指標のあり方を検討する。
- ⑤ 販売代金の決済期間の短縮化、業務規程の遵守指導を行う。

(2) 今後の活動内容

1) 入荷量の把握方法の改善及び販売量・販売金額の把握方法の検討

- ① 統一伝票が普及・定着化するまでの間、現行法式とするが、入荷量調査は全搬入車輛の評量化を指導する。
- ② モデル卸売業者については、統一伝票に基づく種類ごとの入荷販売量・販売金額を開設者に報告させるよう対応策を検討する。

2) 取引の指標となるデータの検討

卸売価格としてのデータを収集する基準について、個々の調査対象品目のより適正な取引指標のあり方を検討する。

3) データ処理システムの改善

統一伝票が普及・定着化するまでの間、聴き取り調査による市場情報の提供を継続する。また、モデル卸売業者の取引を通じた精度の高いデータを収集・蓄積し、随時提供できる方向で検討する。

4) 販売方法の改善

① 販売方法の多様化についての検討

将来的に取引の場が数箇所に整備される状況になった場合には、多数の買受人の参加によって公正な価格形成が可能な新たな取引方法の導入について検討する。

② 産地の出荷規格の支援体制の検討

産地の出荷規格を卸売市場として支援するため、小売業者等の意向を踏まえ販売強化の方策について検討する。

③ 精算伝票の定着化と代金決済のあり方の検討

統一伝票の普及・定着化について促進を図るほか、出荷者への販売代金支払及び買受人からの販売代金回収の期間短縮化について指導する。

④ 冷蔵施設の有効利用

品質保持等のために在庫管理が必要なものについて、冷蔵庫の効果的な活用を検討

する。

5) 管理運営体制の整備

① 市場業務規程の運用の検討

業務規程を実効のあるものとするため、業務規程の遵守について指導する。

② 卸売手数料率のあり方の検討

共同集出荷の推進に対応し、卸売業者の販売手数料の低減化を図る観点から、経営の改善について検討する。また、共同集出荷を支援する卸売業者の組織化について検討する。

③ 青果物検査のあり方の検討

a. 販売に適さない商品が卸売市場に搬入されないよう産地における選別出荷について指導を行う。

b. 卸売市場において取引される商品の安全性を高めるため、品質検査等を実施し、検査結果に基づいて指導を行う。

参考：専門家からの報告状況

パラグアイ青果物流通改善計画 活動進捗状況

協力課題	進捗状況	問題点	対応方針	備考
青果物流出荷システム	<p>「プロジェクトを取り巻く状況(オ:オビエド、コ:コルメナ)」</p> <p>農家(オ):生産技術については指導を受けた経験がない。生産は資材購入資金の借り入れからという状況。物資運搬用牛車は2戸に1台。また広大な地域に農家が散在し、コミットメントのまとまりを欠いている。道路は洪水のため車輪運行がストップする。集団活動の経験がなく集団としての求心力に欠けている。統一性を欠いた個人出荷が大半を占め、商品生産の認識ができていない。</p> <p>農協:営業指導部門の欠落。組織運営未習熟(オ)。農協農家の情報伝達悪い。産地作りの拠点(集出荷場)がない。産地作り構想(オ)なし、(コ)検討中。</p> <p>市場との関係:市場機能未成熟。卸売業者は不均質である。行政:産業政策における園芸部門の位置付けとして目標不在。産地育成振興策を欠く。農民集団育成策弱く、農民教育不徹底。SEAGの強化、DCEA(流通局)に園芸部門を新設するべきである。</p>	<p>・中央卸売市場日系中央会に販売を依頼しているが、精算が20~30日かかり、生活に困窮している小農生産者は、2~3日で現金支給を欲しており、安いのを承知で現金支払いの集荷業者に売り渡している。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プラスガラライ地区について</p>	<p>・卸売業者の精算事務の迅速化 ・農協の立替払いの可能性検討 ・販売依頼する卸売業者の複数化 ↓ 共同出荷体制の充実、安定出荷への整備</p>	<p>産地集荷の効率化</p> <p>卸売業者より生産者層位の流通システム構築(値段は卸売が一方向的に決めるのではなく、生産者が最良の卸売業者を選ぶ)</p>
	<p>コネル・オビエド農協 中央卸売市場への集出荷体制ができつつある。</p> <p>ラ・コルメナ農協 98年4月より専門小委員会を設置し、調整出荷、品質向上、高価格販売、販路拡大、広票方式による集出荷・代金精算事務の手計算の改善等、コンピュータ要員を確保して合理化を進め、モデル農協としての活性化に着手するよう指導している。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集出荷施設について</p>	<p>生産地から市場への安定的な集出荷の基地として両農協に施設設備が必要である。モデル農協の傘化組合員への指導管理体制の充実に伴い、予冷庫・選別機・統一容器等、品質の向上、荷姿の改善、更に品質を保持しながらの調整出荷に対応する必要機材の整備が大きな役割を占めてきている。</p>	<p>オビエド:「日系に追いつけ追い越せ」を目標。上位価格帯への食い込み。</p> <p>プラスガラライとの連携?</p> <p>コルメナ:「外国産に拮抗し得るものの出荷」を目指す。若手組合員が欠乏するなか、調整出荷が眼目か。</p>	<p>冷蔵施設: DAMAの予冷庫やスーパーの予冷棚に出したい。チャコ地方では予冷庫が利用されている。卸は日系。</p>

協力課題	進捗状況	問題点	対応方針	備考
情報提供システム	<p>プロジェクトを取り巻く状況 市況等物流の基本情報は制度面では収集・分析・提供に問題があり、物・人・制度の面では未整備である。情報交換手段としてはファックスレベルで実用化の域にある。背景に事務処理面でのコンピュータ利用が始まっている。 情報が重要かつ巨大なインフラという点では、国と共通認識は得られているが、具体的な立ち上げ（電話回線確保等）が遅れている。要員確保、資機材の投入だけでなく、利用技術の集積と広範なPRが必要である。</p> <p>情報収集・提供機能について SIMAの情報を確実に改善し、信頼される情報提供として役立てていくことも目標としている。</p>	<p>現在のところ目に見えない具体的な改善が現れていない。これは情報源である中央卸売市場の情報収集の改善が実行計画どおりに進んでいないからである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行責任者である市場係長が5回も変わったことにも原因があるが、 ・トラックの入荷積載量の正確な把握 ・卸売価格取り業務の充実 ・統一伝票制の使用定着化 ・電算事務の迅速化 <p>これら情報収集体制の精度の向上を早期に図っていく必要がある。</p>	<p>情報提供システムの課題 ①精度向上 ②規模拡大 ③利用技術の浸透</p>
		<p>卸売価格情報 両モデル農協とも日系中央会の同一品目の今日の卸売価格情報によって、明日以降の出荷を準備する方向にあるが（本来SIMAの情報に頼るべきであり、これはあくまでも生産団体と卸売業者間の私的部分であるが、他の卸売業者の取引が不明確であるため、オビエド農協育成のためのやむを得ない措置としている）、日系の卸売価格は良い品を扱っているため、他の109の青果物卸売業者の価格より高く抜き出している。そのため、市場全体の同一品目の平均価格とは相当の差があり、このまま公表した場合、多くの生産者は自分の出荷物ももっと高く売れているのではないかと誤解を招くおそれがある。更に国の売場での販売価格が参入してきて、どういった影響を与えるかも検討し、調整していく必要がある。</p>	<p>＜今後の対応＞ 1 情報収集 市場情報＝精度向上 ①聴取調査の強化 （調査方法の改善、調査員増員） ②統一伝票導入に伴う対応 産地情報 両農協からの情報収集 2 情報提供 マスメディア利用 既存14放送局：質の向上 放送局不在の4局：対応 新聞・テレビの新規利用 産地対応 市場→農協 農協→農家 個人別販売データへの対応 （秘密性確保等）</p>	<p>これらの課題を具体的にどのようにして達成するか（解決策）については方針不明である。</p>

協力課題	進捗状況	問題点	対応方針	備考
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場外流通分野の調査（専門店がなく、スーパーがよやうやく運出し、流通の量的側面が揃った段階。公設小売市場が揃っている。地方都市のマーケットや路上販売などの市場外流通が無視し得ない） ・輸入品と国産品との価格差 ・農牧省売場建設 	<p>伝票制の定着</p> <p>110の青果物卸売業者のうち、3業者のみが集計できる伝票を使用しているが、他はメモ取引できあがる。これは市場に出荷した農産物を卸売業者が受け取る時に売れない品物（標物、腐れもの）は除外された後、荷受け受理票の写しを定着させることで正確に入荷量が把握できるものである。</p> <p>卸売市場の時間帯の改善（市場開場時間、卸売時間短縮等）</p> <p>卸売部門と小売部門の区分（販売価格、売場等での区分）</p> <p>市場情報収集・提供等の精度向上</p> <p>実行中</p> <p>さらに、今年度の重点課題として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冷蔵施設の効率的活用（日本供与4室中1室のみ青果物利用） ②消費者実態調査結果の活用（消費者は市場に何を求めているのか） ③青果物検査室の充実と農産物調査結果による指導（市場から産地への指導） ④新規市場業務規程の検討と適切な運用等（秩序ある市場流通確保） 	<p style="text-align: center;">国営の卸売場建設問題</p> <p>現在、出荷伝票、販売伝票、支払伝票（仕切符）の使用について指導しているが、税金徴収に利用されているのでは？という危惧を卸売業者がもっている。</p> <p>小売の習慣でのメモ取引や中間マージン控受のうま味、さらに、市場規程を適当に利用して商売してきた卸売業者を洗刷することは容易なことではない。</p> <p>しかし、卸売業者の実態調査結果の公開説明、結果表の全員への配布、統一伝票の使用は、国際的に通用する信用取引の証しである等理解を深め、この国唯一の卸売市場は「我々卸売業者が中心になって公平な卸売業務を行うこと」によって初めて、モデル的な農産物価格が形成されていく重要な立地と使命があるのだ」ということがわかれば、徐々に徐々にはあるが代表者会議等を通じて具体的な改善に向け前進しており、希望をもっている。</p>	<p>改革するののか？</p>	<p>ランダム梁荷、ランダム販売は非効率。</p> <p>販売方法：施設の構造からせりばは困難？ それとも試行的にでもせりばを実施し、透明性を確保すべきか？</p>

6. 取るべき措置

6-1 連絡協調体制の整備

- (1) 本プロジェクトは、集出荷、卸売市場運営、情報の3分野が有機的に関連しており、関係機関、活動拠点（サイト）も多岐にわたることから、各分野及び関係機関、関係者が連絡調整及び相互協議を緊密に行いつつ活動を進めることが重要。
- (2) このことについては実施協議調査時点から指摘されており“プロジェクトの目的を効果的に推進するための連絡調整及び協議の機関”として「青果物流通改善センター」を設置することについて日・パ間で確認。
- (3) さらに、92年12月の巡回指導調査において、同センターは“合同委員会で決定した事項について更に詳細を協議し、実施する機関”として位置付けることが確認され、運営、管理方法等を定める運営規定についてはパラグアイ側のイニシアティブで検討・作成することとされた。
- (4) 今次巡回指導調査時点においては、上記の“運営規程”の「案」が作成され、関係者間で最終の検討が行われている段階であった。

構成メンバーについては、パラグアイ側については、すべてのカウンターパートが参加することになっており、適切と考えられたが、日本側専門家の位置付けについては、本センターはパラグアイ側主体で運営すべきであることから、アドバイザー的位置付けにしたほうがよい、と判断された。

このほか、本センターの性格を合同委員会で決定した事項を実行するための機関であることを明確にすること、会議は毎月1回以上定期的に開催することを明確にすること等について指導を行うとともに、これらを踏まえて運営規程の最終（案）を作成し、早急に必要手続きを完了し、同センターの活動をスタートさせるよう指導を行った。

- (5) また、ミニッツにおいては、本センターは、パラグアイ国における青果物流通改善事業を推進していく母体として、プロジェクト終了後もパラグアイ側自身によって存続させる必要があり、この点について関係者が充分認識し、そのために何が必要かを今から検討しておくことがプロジェクトの自立的発展にとって重要である旨、確認した。
- (6) いずれにしても、本プロジェクトの円滑な実施、さらには、終了後の自立的発展のために本センターを早急に発足させ、関係機関（者）の連絡協調体制を早急に確立することが必要である。

なお、このほかのプロジェクトの連絡協調体制及び留意すべき点は、以下のとおり。

- ① 日本人専門家の定例会議

2週間に1度、プロジェクト全体及び各専門分野の今後の実行計画及び中長期予定について説明、意見交換等を実施している。今後更にプロジェクト全体の進捗状況等も念頭に置いた各専門分野相互の連携協力体制の一層の確立に努める必要がある。

② 日本人専門家とカウンターパートとの会合

必要に応じ、関係する専門家及びカウンターパートが参加し会合をもっているが、全専門家及びカウンターパートが参加する会合は昨年1度開催されたのみで、プロジェクト関係者が実務レベルで定期的にプロジェクトの進捗状況、今後の方向等について横断的に検討する体制には、必ずしも、なっていない。

今後は青果物流改善センターがこの機能を果たすことになると考えられるが、軌道に乗るまでは、随時、実務者レベルで会合を開き、相互の意見交換等を行うことが望ましいと考えられる。

6-2 カウンターパート

(1) 現在、本プロジェクトのカウンターパートとしては、農牧省経済流通局9名、アスンシオン市6名、コロネル・オビエド農協2名、コルメナ農協1名の計18名が配置されている。このうち農牧省のカウンターパートについては、これまで異動はなく、定着化が図られている。他方、アスンシオン市のカウンターパートについては、92年8月以降は定着しているものの、それ以前は度々交替しており、その背景には農牧省に比べ給与が低い等、待遇面の問題もあると言われている。

(この点に関し、92年7月に農牧大臣からアスンシオン市長に対し、カウンターパートを交替させないでほしい旨のレターを發出している。)

(2) 日本人専門家による技術移転を円滑に行い、プロジェクトを実効あるものにするためには、適切なカウンターパートが継続的に配置されることが必要なことは言うまでもなく、この点については常にパラグアイ側に注意喚起していくことが重要と考えられ、今回もミニッツに言及しておいた。

(3) パラグアイにおいては、8月15日付でワスモッシ新大統領が就任し、新政権が発足したところであり、これに伴い、ほとんどの閣僚が更迭されるなか、幸い農牧大臣は留任となっている。また、幹部も次官を除き局長クラスは現在のところ変わっておらず、本プロジェクトに大きな影響は出ていないが、なお、今後の動きには留意する必要がある。

(本プロジェクトの実施機関の一つである農牧省経済流通局の組織改変が今後行われるとの動きがあり、サラテ局長が異動するような場合には、本プロジェクトの実施に大きな影響が出る懸念される。)

- (4) 各カウンターパートはおしなべて年齢が若く、青果物流通に関しての経験は浅いが、専門家の指導により、以前と比べてかなり自主性が出てきているとのことである。今次調査団の訪問に際して各カウンターパートから、それぞれの分野の実施状況、問題点等について熱心な説明があり、技術移転はかなり進捗している印象を受けた。ただし、カウンターパート自ら業務の企画立案を行い、実施していくまでには至っておらず、プロジェクトが後半戦に入る今後においては、関係者がこの点について充分留意して活動を進める必要があると考えられる。

この点に関し、例えば集出荷分野については、農牧省のカウンターパート2名をそれぞれコロネル・オビエド農協とラ・コルメナ農協の担当に分離して責任体制をとるとともに、農協のカウンターパートに対する指導については、専門家は一步下がって、農牧省のカウンターパートを通して行う等、徐々にカウンターパートを自立させるよう工夫しており、評価される。

- (5) なお、現在配置されているカウンターパートのうち、ラ・コルメナ農協のカウンターパートについては1名のみ（兼務）であり、他に比べて若干不十分との印象を受けたが、「コルメナ農協青果物流通振興計画委員会（通称6人委員会）」を設置し、4月から活動を開始する等の努力を行っている。

6-3 道路整備

- (1) コロネル・オビエド農協については、昨年11月に共同集出荷を開始して以来、一時集出荷量が落ち込んだ時期もあったが、その後、専門家、カウンターパート等の努力により、徐々に、その意義、メリットが浸透し、現在は共同集出荷が軌道に乗りつつあると考えられる。他方、同農協管内においては道路の整備がかなり遅れており、降雨の後には通行不能になる等、トラックの運行に支障を来したり、振動により積荷が損傷し、品質が落ちる等、共同集出荷推進の大きな障害となっている。

- (2) この点については前回巡回指導調査においても指摘されていたが、今次調査時点においては専門家等の努力もあり、パラグアイ側により地区内道路の補修が進められる方向で話が進んでおり、その第一段として6,000万ガラニ（約350万円）の予算の手当てが既に終わっており、その執行を待つ段階となっていた。

今回は地区内の幹線道路の状態の悪い箇所約4km（幹線道路延長の約13%）について敷砂利を行う予定となっているが、その後は、更に支線道路についても整備を行う方向で検討されているとのことである。

- (3) 今回の予算措置は第2KRのカウンターパートファンドの利用によるものであるが、現在まで、財政当局による支出の決定が遅れている。青果物の出荷がピークを迎える11月～12

月の前に道路整備が完了すれば、今後の共同集出荷の推進にとって効果が大きいと考えられることから、敢えて今回のミニッツに盛り込むこととした。

- (4) なお、今回の道路整備に当たっては、コロネル・オビエド市長から建設機械の提供の申し入れがあるとのことであり、本プロジェクト推進のための関係機関の協力体制が強まってきているものと判断される。

6-4 プラスガライ農協の共同集出荷への参加問題

プラスガライ農協（91年11月設立）の本プロジェクトへの参加問題については、前回巡回指導ミッション（92年12月）におけるパラグアイ側との協議において、当面はプロジェクトの対象としないということで整理されたが、最近になって再びプラスガライ農協（及びサンロケ農協）のプロジェクトへの参加要望が出され、本問題への対応を改めて検討することが必要となったところ、経緯、論点及び対応ぶり（案）等、以下のとおり。

6-4-1 経緯

- (1) R/D（91年3月）においては本プロジェクトの対象としてコロネル・オビエド農協をモデル農協の一つとして規定。

（この時点では、後に設立されたプラスガライ農協の地域も対象範囲に入っていた。）

- (2) 91年5月に日本人専門家が派遣され共同集出荷の推進のための諸活動が開始された。その後、91年11月には日本の青年海外協力隊が生産指導指等を行っており、地域的にコロネル・オビエド農協の管内にある一部の農家によりプラスガライ農協が設立された（組合員の一部は元コロネル・オビエド農協組合員）。

92年11月にはコロネル・オビエド農協において共同集出荷がスタートするに至ったが、これを受けて農牧省経済流通局長から新設のプラスガライ農協もプロジェクトの共同集出荷の対象に含めてほしい旨の要請が出された。

- (3) このような現地の状況を受けて、92年12月に巡回指導ミッションが派遣され、この問題についてパラグアイ側と検討、協議が行われた結果、“当面は（*具体的期間は不明）プラスガライ農協をプロジェクトの対象にする必然性はない。ただし、今後の取扱いについては事態の推移を見守りつつ柔軟な対応が必要”との結論に至った。

（理由）

- ① プラスガライ農協組合員が現在はプロジェクトへの参加を求めている。

（先に設置構想が発表された卸売市場内の国営直販所を利用する等独自の構想をもっていた。）

- ② 既存のコロネル・オビエド農協の組合員を組織化するだけでも本プロジェクトが狙い

とする共同集出荷のモデルとすることが充分可能。

- (4) その後、プラスガライ地区で営農指導を行っている協力隊を通じて農牧省に対し、プラスガライ農協及びサンロケ農協（92年8月設立）をプロジェクトに参加させてほしい旨の口頭依頼があり、また、93年7月には両農協からコロネル・オビエド農協及び農牧省経済流通局長に対し、それぞれプロジェクトの共同集出荷への参加要望レターが提出された。

(背景)

- ① プラスガライ農協が販売先と考えていた国営直販所設立構想がなかなか実現しない一方、事務局を欠く両農協の共同出荷策は停止状態にある。
- ② 他方、プロジェクトの共同集出荷が軌道に乗り始め、組合員に利益を与えていることが目に見えてきた。

（プロジェクトのトラックルートの一部に両農協組合員が混在している。）

- (5) 8月23日に、本問題について、農牧省（経済流通局長）、コロネル・オビエド農協、プラスガライ農協、サンロケ農協、協力隊、日本人専門家が集まって対応を検討。

その際、経済流通局長から、プラスガライ農協（及びサンロケ農協）に対し、プロジェクトに参加するためにはコロネル・オビエド農協への一括加入が最良の選択であることを指摘し、意向打診を行った。

(背景)

- ・ R/Dの変更を行って第三のモデル農協を作ることは困難との認識。
- ・ プラスガライ農協がプロジェクトに参加するには、コロネル・オビエド農協に入ることとしかない。
- ・ 加入方法のオプション
 - ① プラスガライ農協組合員がコロネル・オビエド農協に加入（一括加入）。
 - ② プラスガライ農協組合員が個別にそのままコロネル・オビエド農協の共同出荷に参加（員外利用）。
 - ③ 両農協の連合体設立。
 - ④ 両農協への二重加入（これは農協法上禁止されており、不可能）。

- (6) 経済流通局長の意向打診に対し、8月30日に、プラスガライ農協から農牧省に対し、コロネル・オビエド農協への加入はできない旨の回答。

- (7) 今次ミッションが農牧省技術官房局長を表敬訪問した際（8月25日）、先方より“プラスガライ農協がプロジェクトに参加したいとの意向を有しているのでは是非参加させてほしい”旨の発言があり、団長より“今回のミッションとしては結論は出せないかもしれない”旨、応答。

6-4-2 日本人専門家との打合せ

本調査団の派遣期間中、本プロジェクトの専門家等から、本件に関して情報収集及び意見交換を行ったところ、主要点は以下のとおり。

① 関係農協及び生産農家の確固たる意志、合意形成が本件を進める前提条件であり、この点について充分見極める必要がある。

- ・ プラスガライ農協……………コロネル・オビエド農協への加入についての経済流通局長の提案を断わっており、本プロジェクト参加の意志の程度が不明。

- ・ コロネル・オビエド農協……………本件については慎重に対応したいとの考えを有する者もあり、感情的なものが全くないとは言えないのではないか。

② 上記の前提条件がクリアされるまでは日本人専門家が主導的に動くべきではない。

- ・ 今の状態で日本人専門家が前面に出て指導を行えば、現在の共同集出荷組織が壊れてしまう可能性が大きい。

- ・ 条件が整う前に性急に事を進めると、後で失敗することになる（日本でも多くの事例あり）。

③ 両農協レベルでの調整（コロネル・オビエド農協への一括加入がベター）を了した上で専門家に相談があれば、プラスガライ農協（及びサンロケ農協）に対し、共同集出荷参加の諸条件（選果義務、運賃負担、諸決定事項の実行義務等）を提示した上、再度参加意志を確認する必要がある。

（それでも参加したいと言えば、拒否すべき理由はない。）

④ 上記③の状態になれば東京に意見具申できるが、タイミング的には、遅くとも今年中には結論を出す必要があると考えている。

⑤ プラスガライ農協（及びサンロケ農協）が共同集出荷に参加するメリットはある。

- ・ 出荷量がまとまることにより仕切価格上昇の可能性が期待でき、市場で安定的な地位を占めることになる。

- ・ 運賃が相対的に安くなる。

- ・ 以上により共同集出荷の自立発展性が高くなる。

⑥ プラスガライ農協等が参加した場合の共同集出荷の実施方法については内々検討しているが、技術的に大きなネックはないと判断している。

しかし、急激に共同集出荷量が増えた場合は、現在の出荷先（日系農協中央会）のみでは販売できないこと等も考えられ、以下と併せて更に検討が必要。

- ・ 積荷の増加に伴うトラックの必要台数の確保と運賃検討。

- ・ 事務局の体制の強化。

⑦ 両農協の新規参加については、現在日本側がストップをかけているとの認識となっている（93年4月ごろ、2～3人のサンロケ農協組合員の荷を積んだことに對し、運転手の独断を中止させたもの）。

⑧ 協力隊の活動（生産指導）とプロ技の活動（流通改善）の対象農家が異なっており、プラスガライ農協には不満をもつ農家もある。

なお、反省点として、同一地域内において同じ日本国の協力指導活動によるプロ技等が行われる場合は、相互の指導方向等は充分協議するとともに、随時、意見交換等を行う必要がある。

6-4-3 論点

(1) 問題の性格

① 前回（92年12月）の巡回指導調査時においては、プラスガライ農協等の新設に伴いコロネル・オビエド農協の農家数が減少し、モデル農協として維持し得るかどうかという、いわばプロジェクトの基盤の存立にかかわる問題について検討を行うという状況にあった。

② これに對し今回の問題は、極論すれば共同集出荷への参加農家を現在よりも増やすかどうかという問題と認識することもでき、その意味では前回の問題とは性格が異なると思われる。

③ 他方、本件はプロジェクトの存立に大きくかかわる重要問題として過去に検討された問題が再燃したということでもあり、この点に鑑みれば東京サイドとしても対応を検討し、何らかの判断を示す必要があると考えられる。

(2) 本プロジェクトの推進への影響

① 両農協の加入によりプロジェクトの円滑かつ効率的な実施に大きな悪影響が生じないかどうか充分検討する必要がある。

② また、両農協の加入により共同集出荷の実施が加速される可能性についても指摘されていること、現地の動きをいたずらに押さえ込むことはプロジェクト終了後に問題が再燃する可能性があること等についても充分考慮する必要がある。

③ いずれにしても、加入した場合、加入しない場合のメリット、デメリットについて現地専門家等の意見を聴きつつ、充分検討する必要がある。

(3) 日本側の関与の仕方及びタイミング

① 本件への対応については日本側の考えをパラグアイ側に押し付けることは避け、パラ

グァイ側関係者と充分協議し、合意ベースで進める必要がある。

- ② 現時点では、パラグァイ側関係者内で本件対応についての考え方が必ずしも充分統一されていない状況がみられ、このような状況で日本側として性急に結論を出すべきではないと考えられる。

(パラグァイ側の関係者内の考えがまとまった段階で、パラグァイ側と充分協議して結論を出すべき。)

- ③ 他方、本件についてはプロジェクト期間中に解決を図っておくことが望ましいと考えられる。すなわち、プロジェクトが終了し、日本人専門家が引き揚げた後に、本分野の経験が乏しいパラグァイ側だけでこの問題を処理できるかどうかは疑問であり、プロジェクト終了後、本件が原因で共同集出荷体制が崩壊する可能性も考えられる。

6-4-4 対応ぶり(案)

以上の点を踏まえ、本件への対応ぶりとしては、以下の方法が考えられる。

(1) 基本的考え方

- ① 性急に結論を出すことは避ける。
- ② 日本側として両農協の参加を一切認めないとの立場は取らない。
- ③ 関係農協及び生産農家の合意形成が前提条件。
- ④ 現在の共同集出荷に大きな悪影響が出る可能性があれば、両農協の参加は認められない。
- ⑤ 新規参加により、プロジェクトの実施上または将来の自立発展を図る上でメリットが期待できること。
- ⑥ R/Dの変更(第三のモデル農協の設置)は行わない。

(2) 具体的対応

- ① 関係農協及び生産農家レベルでの合意形成が最低限の前提条件であり、この点についての見極めを、まず行う必要がある。
→ 必要に応じ、その後の状況について現地から最新情報を取る。
- ② 合意形成ができた段階で現地専門家から本件への対応方向について意見を聴取し、それを踏まえて東京サイドで検討し、早急に現地に回答する。

別 添 資 料


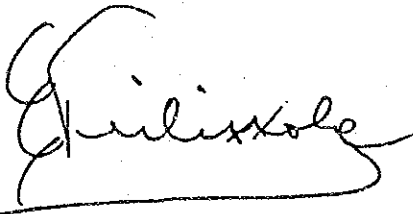
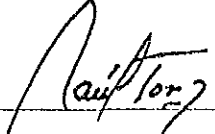
1. ミニッツ
2. 農牧省組織図
3. オビエド農協に関する資料
4. コルメナ農協に関する資料
5. 中央卸売市場の卸売業者について

別添資料 1. ミニッツ

MINUTA DE CONFIRMACION SOBRE EL PROYECTO DE MEJORAMIENTO DE
LA COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS DEL PARAGUAY, ENTRE LA MISION DE
ORIENTACION DEL PROYECTO POR EL LADO JAPONES, Y EL MINISTERIO DE AGRICULTURA
Y GANADERIA Y LA MUNICIPALIDAD DE ASUNCION, POR EL LADO PARAGUAYO

La Misión de Orientación del Proyecto de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas del Paraguay, organizada por la JICA y liderada por su Jefe el Sr. Tadashi Kamizuru, ha visitado la Rca. del Paraguay desde el 24 de Agosto al 8 de Setiembre de 1993, con el objeto de orientar para un desarrollo armónico del Proyecto. Para ello, ha realizado una serie de reuniones con personas relacionadas al Proyecto a fin de evaluar sobre la situación de la implementación del mismo, y deliberar sobre las actividades a realizarse en adelante. Como resultado de dichas reuniones, ambos lados han confirmado acerca de los items que figuran en el documento anexo.

Asunción, 7 de Setiembre de 1993

		
Tadashi Kamizuru Jefe de Misión de Orientación de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón	Dr. Carlos Filizzola P. Intendente Municipal de la Ciudad de Asunción	Ing. Agr. Raul Torres S. Ministro Ministerio de Agricultura y Ganadería de la República del Paraguay

DOCUMENTO ANEXO 1

ITEMS DE CONFIRMACIONES

1. RESULTADO DE EVALUACIONES

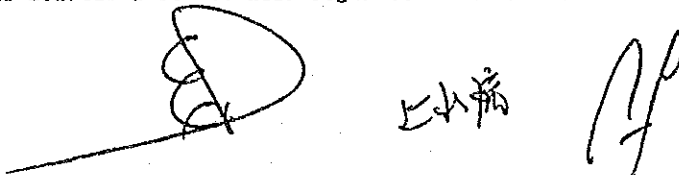
Se han realizado evaluaciones sobre el contenido de las actividades del proyecto ejecutadas hasta el momento. Los resultados figuran en el Anexo 1-1.

2. CONTENIDO DE ACTIVIDADES A REALIZARSE EN ADELANTE

En base a los resultados de evaluaciones del Anexo 1-1, se ha confirmado el contenido de las actividades del proyecto a realizarse según lo detallado en el Anexo 1-2.

3. MEDIDAS A SER TOMADAS

Para una implementación efectiva y eficiente del proyecto, se ha confirmado las medidas a ser tomadas según lo detallado en el Anexo 1-3.


Three handwritten signatures in black ink are located below the text of section 3. The first signature on the left is a large, stylized cursive mark. The second signature in the middle is smaller and more compact. The third signature on the right is a tall, narrow cursive mark.

DOCUMENTO ANEJO I-1 RESULTADO DE EVALUACIONES

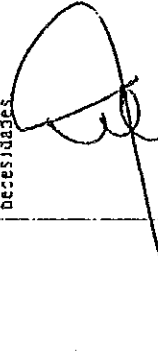

TEMAS DE COOPERACION TECNICA	ACTIVIDADES REALIZADAS Y EL RESULTADO DE EVALUACIONES	PUNTOS PROBLEMATICOS Y LAS MEDIDAS A SER TOMADAS
<p>1. Orientación referente a la administración y organización del mecanismo de la comercialización de frutas y hortalizas desde su acopio y envío colectivo en las cooperativas hasta llegar a los mercados.</p>	<p>A través de las dos cooperativas modelo, que son la "Cooperativa Agro-Industrial La Colmena Ltda." (Cooperativa de vanguardia) y la "Cooperativa Agro-Industrial Coronel Oviedo Ltda." (Cooperativa representativa) se está fomentando en forma gradual, estudios y orientaciones de acuerdo a las actividades de las mismas y la realidad y voluntad de los productores, y se está consolidando la consolidación y el fortalecimiento del sistema de acopio y envío colectivo de los productos.</p> <p>Especialmente, con relación a la Cooperativa Coronel Oviedo, se ha trabajado y esforzado en organizar el sistema de envío colectivo de productos con personas que carecían de experiencia sobre actividades en grupos, y sin costumbre de dejar estadísticas escritas, llegando a iniciar el envío colectivo de productos en noviembre de 1992, a través de encuestas, orientaciones y reuniones en los comités, consolidando el formato de mutuo consentimiento. A pesar de que en enero - febrero de 1993, se ha disminuido el número de productores debido a la demora de la liquidación sobre la venta de los productos (de parte de los mayoristas como de la cooperativa) como motivo principal, se ha subsanado el problema gracias a la incorporación de computadora y otros equipos que racionalizan y aceleran los trabajos de liquidación, así como por el adelanto de liquidación que la cooperativa facilita a sus socios el número de participantes y el volumen de envío de los productos está aumentando.</p> <p>Además, el suministro de informaciones a través de comunicaciones por radio es altamente estimado por los productores como una forma efectiva de las actividades organizadas.</p> <p>Sin embargo, desde el punto de vista administrativo de la cooperativa, puede mejorarse pues actualmente no se cobran comisiones por servicios; lo cual es un problema que, juntamente con otros, deben ser solucionados en un futuro cercano.</p>	<p>1. Orientar sobre la mejor forma para que cada uno de los productores vayan dejando constancia escrita sobre la cantidad de sus producciones y el envío de los mismos (estadística).</p> <p>2. Fomentar la producción y envío planificado de los productos, y orientar para mantener una venta con precios mejores, así como para la diversificación de producciones considerando la mano de obra y la superficie utilizables.</p> <p>3. Reconsiderar las normas y criterios sobre el envío de los productos así como su difusión y consolidación (Coop. Coronel Oviedo). Y fomentar el mejoramiento del método de selección a fin de poder enviar productos de alta calidad (Coop. La Colmena).</p> <p>4. Considerar la multipolarización de los destinos de venta de los productos, en cooperación con las instituciones y personas relacionadas a los mercados.</p> <p>5. Fortalecer las acciones para consolidar el sistema de orientación a las cooperativas, con la difusión y capacitación funcional a los organismos de base (comités), para desarrollar sus actividades en grupos.</p> <p>6. Fomentar la racionalización y rapidez en la tarea administrativa para la liquidación relacionada a las actividades de acopio y envío colectivo.</p>

[Handwritten signature]
[Handwritten signature]
 E. J. J.

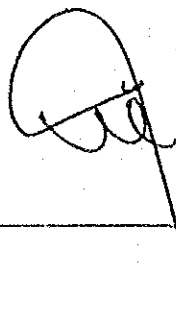
TEMAS DE COOPERACION TECNICA	ACTIVIDADES REALIZADAS Y EL RESULTADO DE EVALUACIONES	PUNTOS PROBLEMATICOS Y LAS MEDIDAS A SER TOMADAS
<p>2. Orientaciones acerca de la administración y manejo de las maquinarias e instalaciones necesarias para el sistema colectivo de acopio y envío.</p>	<p>En cuanto a la Cooperativa Coronel Oviedo que ha introducido camiones para acopio y envío colectivo, se ha iniciado el envío colectivo de productos pertenecientes a los productores reunidos en comités para el efecto, desde noviembre de 1992. Y a pesar de disminuir la carga a los camiones en los meses de enero y febrero de 1993, debido a la disminución del volumen de productos, fué aumentando gradualmente, llegando a un alto porcentaje de utilización hasta tal punto que los productores cercanos de la zona que no pertenecen a la cooperativa modelo, también desean participar de este sistema de envío colectivo reconociéndose la efectividad del mismo.</p>	<p>En cuanto a la Cooperativa Coronel Oviedo, a falta de un centro de acopio y envío, se realiza el embarque de productos en los patios de la casa de los productores y en los costados de los caminos a plena intemperie. Y es necesario considerar las medidas a ser tomadas para solucionar el inconveniente. Para la Cooperativa La Colmena, se considerará la forma adecuada para el envío de los productos seleccionados de alta calidad comercial, y la forma de utilización eficaz de la computadora.</p>
<p>3. Orientaciones sobre la norma de calidad de las frutas y hortalizas, sus formas de embalaje, y el método para la difusión de las mismas.</p>	<p>1) Con relación a la Cooperativa Coronel Oviedo, anteriormente se vendían los productos a través de intermediarios que recogían los productos en los patios de las casas de los productores o bien se enviaban los mismos en forma individual. Para la realización y participación del sistema colectivo de envío, se realizan las orientaciones para fomentar la difusión de los criterios de selección de productos, a través de los mayoristas (1 sola empresa). Utilizando además los embalajes usuales de dicho mayorista pagando el monto correspondiente.</p> <p>2) En cuanto a la Cooperativa La Colmena, ya desde hace un buen tiempo, se realiza el envío colectivo de productos hacia mayoristas destacados, y la selección de los productos ya está difundida. Los embalajes son los que pertenecen a estos mayoristas. Sin embargo, según los vendedores la selección de los productos no son suficientes en comparación a los importados.</p>	<p>1) Con relación a la Cooperativa Coronel Oviedo, se proseguirá con las orientaciones para mejorar y fomentar las voluntades de los productores hacia la implementación de una selección uniforme de productos bajo la responsabilidad la cooperativa como organización de grupo.</p> <p>2) Respecto a la Cooperativa La Colmena, se reconsiderará el criterio de selección de los productos y la forma de mejorarlos.</p>


 E. J. V.

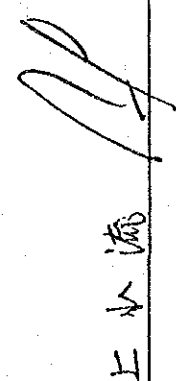
TEMAS DE COOPERACION TECNICA	ACTIVIDADES REALIZADAS Y EL RESULTADO DE EVALUACIONES	PUNTOS PROBLEMATICOS Y LAS-MEDIDAS A SER TOMADAS
<p>4. Orientaciones sobre la administración y manejo para la coordinación del sistema de suministro de informaciones que tiene su centro en S. I. M. A.</p>	<p>El sistema de suministro de informaciones está comenzando a mostrar sus efectos como un estabón para la comercialización, uniendo a los productores con los mayoristas vendedores, en medio de los esfuerzos para fomentar la introducción de acopio y envío colectivos y la utilización de facturas unificadas.</p> <p>Actualmente, en el S. I. M. A. se realiza la colección de resultados de transacciones comerciales (precios máximo, mediano y mínimo de los productos por rubros y mercados) que se realizan en los principales mercados municipales del país (Asunción, Encarnación y Ciudad del Este) a través de facilidades, cuyos datos son difundidos al aire, por medio de 14 emisoras de radio de todo el país a través de comunicación directa por teléfono.</p> <p>Especialmente para D. A. M. A. y mayoristas principales se realizan orientaciones y equipamiento de instalaciones en forma enfática tanto en el aspecto de hardware (trígido) como en el de software (blando). Y en D. A. M. A. se realizan sesiones periódicas de capacitación con la finalidad de estructurar un sistema de suministro de informaciones que esté conforme a las necesidades de los usuarios, y el mejoramiento de la calidad de informaciones, para fortalecer el suministro de informaciones tanto en calidad como en cantidad.</p> <p>Por otro lado, en las cooperativas modelo de La Colmena y Coronel Oviedo, se reciben y transmiten las informaciones de mercados a través de aparatos de fax, y al mismo tiempo, se realiza el suministro de informaciones a los comités utilizando la radio inalámbrico, coordinando los envíos de productos y colaborando para fomentar el sistema de envío colectivo.</p> <p>Sin embargo, debido a que las informaciones suministradas actualmente son estandarizadas, y especialmente en las dos cooperativas modelo que una es de vanguardia y la otra representativa, las necesidades son diferentes en cuanto a tipos de informaciones, y se necesitan tomar medidas según esas necesidades.</p>	<p>1) Diversificación de los items a ser coleccionados analizados y suministrados.</p> <p>Las informaciones no sólo serán sobre precios de venta, sino que constituirán de informaciones necesarias en cada etapa del proyecto, para ir considerando el futuro mejoramiento de la comercialización, los que serán coleccionados, analizados, procesados, suministrados y difundidos considerando el momento del destino y la forma oportunos.</p> <p>2) Incremento de la credibilidad hacia las informaciones.</p> <p>Orientar para incrementar la credibilidad de las informaciones a ser coleccionadas y suministradas.</p> <p>3) Método para suministrar informaciones destinadas a los productores.</p> <p>Realizar orientaciones detalladas acorde a las situaciones reales y necesidades de los productores para el mejoramiento de la comercialización.</p> <p>4) Equipamiento de la infraestructura.</p> <p>En la estructuración de la red de comunicaciones en el aire, se debe tomar medidas para contrarrestar ruidos extraños que puedan interferir y estropear el intercambio de informaciones de alta calidad, a través de frecuencias que serán utilizadas.</p>



 E. L. I.

TEMAS DE COOPERACION TECNICA	ACTIVIDADES REALIZADAS Y EL RESULTADO DE EVALUACIONES	PUNTOS PROBLEMATICOS Y LAS-MEDIDAS A SER TOMADAS
<p>5. Orientaciones sobre el mejoramiento de la administración en lo relacionado al sector de frutas y hortalizas en el Mercado Central de Abastecimiento.</p>	<p>En D.A.M.A. existen 110 vendedores al por mayor, que no utilizaban ningún tipo de facturaciones. Con el objeto de fortalecer el sistema funcional del mercado central de abastecimiento y procurar el mejoramiento de la administración en general, se vienen realizando consideraciones para introducir el uso de la factura unificada.</p> <p>Las actividades principales que se realizan son: ① Reunión para informar el resultado de la encuesta sobre la situación actual de vendedores mayoristas y sesiones para explicar la utilidad de la introducción de factura unificada, y la implementación de prueba para la introducción de factura unificada en agosto de 1993, a través de 16 vendedores mayoristas, con el objeto de consolidar la introducción del uso de la factura unificada. ② Obtener datos sobre el volumen de entrada de productos a través del uso estricto de la base de datos de ventas, así como la obtención de datos más pormenorizados sobre los precios de venta al por mayor, completando los detalles. ③ La transmisión de informaciones proporcionadas al S.I.M.A. a los efectos de difundir por transmisiones radiales.</p> <p>En base a los resultados obtenidos por las actividades arriba detalladas, es necesario realizar orientaciones con mayor esfuerzo, hacia la introducción y consolidación de factura unificada, a fin de lograr la cohesión, análisis y suministro de informaciones de mercado de alta calidad, y asegurar una comercialización más justa.</p>	<p>Con el fin de contribuir al sistema colectivo de acopio y envío de productos fruti-hortícolas y el mejoramiento en la administración del Mercado Central de Abastecimiento (D.A.M.A.), se prevé el desarrollo del proyecto con las orientaciones a los vendedores mayoristas modelo, como beneficiarios principales de cooperación, en los siguientes ítems:</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Fomentar la introducción y la consolidación del uso de la factura unificada, y suministrar informaciones de mercado de alta calidad. ② Realizar ordenamiento de condiciones que haga posible la selección de vendedores mayoristas modelo y la venta justificada de productos. ③ Orientar sobre las reuniones entre los productores y vendedores mayoristas, a fin de lograr una producción y envío planificado de productos. ④ A fin de suministrar informaciones de alta calidad, considerar la formulación de normas que regulen los productos, juntamente con los productores y consumidores. ⑤ Realizar orientaciones sobre el cumplimiento del reglamento para operaciones, y para acortar el plazo de liquidación de los montos de venta.



E. V. V. V. V.



DOCUMENTO ANEXO 1-2 TEMAS DE COOPERACION TECNICA Y CONTENIDO DE ACTIVIDADES (a realizarse)

TEMAS DE COOPERACION TECNICA	CONTENIDO DE LAS ACTIVIDADES A REALIZARSE
<p>1. Dirigir en lo concerniente a la administración y organización del mecanismo de la comercialización de frutas y hortalizas en su acopio y envío colectivos desde las cooperativas hasta los mercados.</p> <p>1) Ordenamiento y utilización de datos básicos de acopio y envío colectivo.</p> <p>2) Ampliación y fortalecimiento de la estructura organizativa para acopio y envío colectivo.</p> <p>3) Establecimiento del sistema de acopio y envío colectivo de productos y el mejoramiento de la administración organizativa.</p> <p>2. Orientación concerniente a la administración y manejo de las maquinarias e instalaciones necesarias para la afirmación del sistema colectivo de acopio y envío.</p> <p>3. Orientación referente a la norma de calidad de frutas y hortalizas, su empaque y la difusión de las mismas.</p> <p>1) Orientaciones sobre normas de calidad y empaques.</p>	<p>Referente a los temas 1 - 3 de la Cooperación Técnica, se proseguirán con las orientaciones a las cooperativas Coronel Oviedo y la Colmena concentrándose esfuerzos para fomentar una forma eficaz y rentable de envío colectivo, como modelos de un sistema organizado para la producción y envío de productos hortifrutícolas.</p> <p>Orientar las actividades de producción, para aumentar la misma y fomentar un envío planificado de los productos.</p> <p>Con relación a la Cooperativa Coronel Oviedo, a la vez de orientar hacia un adecuado registro de datos sobre la producción y envío de productos por cada explotación agrícola, y considerar la forma para que la cooperativa y los productores lleven esos registros con el objeto de ayudarlos.</p> <p>Realizar orientaciones también para análisis, procesamiento y utilización de datos de productores que las cooperativas han compilado.</p> <p>Orientar para proseguir con la implementación de reuniones de los representantes de comités y de los productores por cada zona a fin de mejorar y fortalecer la estructura organizativa de acopio y envío colectivo y su administración.</p> <p>Orientar el fomento de la difusión para la producción y envío planificado en las cooperativas y el mejoramiento de la administración agrícola de los productores. Por otro lado, a la vez de considerar la complementación del sistema de fomento de orientaciones en las cooperativas y asegurar la consecución de recursos (pago de comisiones, etc) para las actividades de administración organizativa, dirigir para la complementación y fortalecimiento de las mismas. Se considerará también la multipolarización de los destinos de venta en cooperación con las instituciones y personas relacionadas con los mercados.</p> <p>Se harán consideraciones para la instalación y equipamiento de maquinarias necesarias para el acopio y envío colectivo en caso de Cooperativa Coronel Oviedo; para la Cooperativa La Colmena, considerar la forma eficaz y rentable de seleccionar los productos y el equipamiento de un sistema de almacenamiento y envío climatizado de productos; y orientarles acerca de las maquinarias, instalaciones y técnica necesarias para la utilización adecuada de los mismos. Además orientar a las cooperativas en el uso eficaz de las computadoras a fin de procesar y ordenar datos sobre acopio y envío colectivo, para liquidaciones, confección de registros por productores, etc.</p> <p>A la vez de reconsiderar la norma de calidad vigentes para envío de productos fruti-bottícolas,</p>

[Handwritten signature]
 上水隊 (Uzumaki)

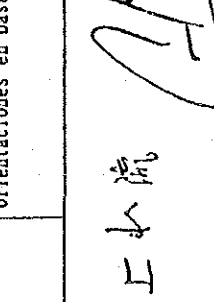
TEMAS DE COOPERACION TECNICA	CONTENIDO DE LAS ACTIVIDADES A REALIZARSE
<p>2) Métodos para difundir las normas de calidad y embalaje de los productos.</p> <p>4. Orientaciones acerca de la administración y manejo para la coordinación del sistema de suministro de informaciones con S. I. M. A. como su centro.</p>	<p>en la Cooperativa Coronel Oviedo, implementar una selección organizada y unificada de sus productos ; en cuanto a la Cooperativa La Colsema, se considerará en la implementación de normas de calidad superiores y el método para seleccionar productos para dichas normas, y se realizarán las debidas orientaciones técnicas. Con referencia a embalajes (envases para el envío), se considerará la mejor forma de mejorar incluyendo su economía.</p> <p>Con relación al fomento de la difusión de normas de calidad, proseguir con la orientación a los productores através de reuniones con los mismos por zona y los representantes de los comités.</p>
<p>1) Formulación de un sistema eficaz para el suministro de informaciones.</p> <p>2) Orientaciones sobre técnicas para aprovechamiento del sistema de suministro de informaciones.</p> <p>3) Orientaciones técnicas sobre el procesamiento y análisis de datos sobre informaciones a ser suministradas.</p>	<p>Apoyar y fomentar el ordenamiento del suministro de informaciones através de cooperativas modelo en su acopio y envío de productos en forma colectiva, y el mejoramiento de la administración del Mercado Central de Abastecimiento (D. A. M. A.), con las informaciones para el mejoramiento de la comercialización de frutas y hortalizas de producción nacional, como fundamento principal.</p> <p>A fin de fomentar el mejor desarrollo de actividades de las cooperativas y vendedores mayoristas además, promover el ordenamiento de una red de informaciones, y además, considerar un sistema para colección y suministro de informaciones para productores en las cooperativas modelo.</p> <p>Promover la eficacia del sistema de informaciones, en consideración a los beneficiarios, desde el punto de vista del aprovechamiento adecuado del sistema, reconsiderando la estructura de la red, hardware y software, y consolidar su aplicación.</p> <p>Orientar para el mejoramiento de métodos para analizar los ítems de datos diversos que se originan durante el proceso de comercialización desde la producción de frutas y hortalizas hasta su venta en el mercado, principalmente através de productores de las cooperativas modelo y vendedores modelo en el D. A. M. A. con el objeto de captar, analizar y suministrar adecuadamente las informaciones. En cuanto a la forma de realizar rápidamente la tarea de liquidación en lo relacionado al acopio y envío colectivo de productos, es urgente aplicar medidas de solución.</p>
<p>5. Orientaciones sobre el mejoramiento de la administración en lo relacionado al sector de frutas y hortalizas en el Mercado Central de Abastecimiento (D. A. M. A.)</p>	<p>Seleccionar de entre los mayoristas que quieren colaborar para fomentar el mejoramiento de la administración del mercado, vendedores mayoristas de confianza para apoyar el sistema colectivo de acopio y envío, como mayoristas modelo, y contribuir para el efecto complementando las tareas de los mismos en D. A. M. A.</p>

E. W. J. 

TEMAS DE COOPERACION TECNICA	CONTENIDO DE LAS ACTIVIDADES A REALIZARSE
<p>1) Consideraciones para mejorar los métodos de control sobre el ingreso de productos, la cantidad y monto de venta de los mismos.</p> <p>2) Consideración de datos índices para transacciones.</p> <p>3) Mejoramiento del sistema para procesamiento de datos.</p> <p>4) Mejoramiento de los métodos de venta.</p>	<p>① Mientras se difunda y consolide el uso de la factura unificada, se proseguirá con el método vigente. No obstante, orientar para que todos los camiones que ingresan con los productos, pasen por la báscula para las inspecciones de entrada de los mismos.</p> <p>② Con relación a los mayoristas modelo, se considerará las medidas necesarias para que los mismos informen a los encargados, la cantidad y monto de venta de los productos por cada rubro, según la factura unificada.</p> <p>Con referencia al criterio para la colección de datos sobre precios de venta al por mayor, se considerará un índice adecuado para cada rubro por separado.</p> <p>Se proseguirá con el sistema actual de suministro de informaciones del mercado basado en la colección de informaciones a través de recorridos del encargado, en el interín que se difunda y se afirme el uso de factura unificada. Por otro lado, se considerará para preparar el suministro de datos con alto grado de confiabilidad que se irán compilando y acumulando a través de transacciones de los mayoristas modelo.</p> <p>① Consideración para diversificar métodos para la venta. Más adelante, cuando las condiciones permitan la instalación de varios sitios para las transacciones, considerar la introducción de métodos de venta con la participación a la vez de muchos compradores (subastas), a fin de asegurar el establecimiento de precios más justos.</p> <p>② Consideración de un régimen de apoyo para la normalización de calidad de los productos en las zonas de producción. Considerar la forma de aumentar la venta de acuerdo a la opinión de los vendedores minoristas, para apoyar la normalización de calidad de productos en las zonas de producciones.</p> <p>③ Consideración para la consolidación del uso adecuado de facturas para la liquidación de ventas. Además de fomentar por la difusión y consolidación del uso de factura unificada, orientar sobre la forma de acortar los plazos para el pago del monto de venta a los productores, como para el cobro del mismo a los compradores.</p> <p>④ Utilización efectiva de las instalaciones climatizadas. Considerar la utilización efectiva de las instalaciones climatizadas, para el control del stock de productos que necesitan preservar su calidad.</p>

上水流 AP

TEMAS DE COOPERACION TECNICA	CONTENIDO DE LAS ACTIVIDADES A REALIZARSE
5) Ordenamiento del sistema de administración y control.	<p>① Consideración para la aplicación del reglamento Interno de D.A.M.A. Orientar hacia el cumplimiento del reglamento Interno, a fin de dotar al mismo la debida vigencia.</p> <p>② Consideración sobre la debida forma del cobro de comisión sobre ventas al por mayor. Realizar orientaciones para el mejoramiento de la administración de los vendedores mayoristas a fin de reducir el porcentaje de comisión que perciben.</p> <p>③ Consideración sobre la debida inspección y control de calidad de productos fruti-borticoías.</p> <p>a) Realizar orientaciones sobre la selección de productos en las zonas de producción para no enviar productos de mala calidad que no son aptos para su venta en las instalaciones del Mercado de Abastecimiento.</p> <p>b) A fin de elevar la seguridad de los productos para su consumo, que son comercializados en el Mercado de Abastecimiento, implementar la inspección de calidad y control de los mismos y realizar orientaciones en base a los resultados.</p>


 E. H. H.

DOCUMENTO ANEXO 1-3 MEDIDAS A SER TOMADAS

1. SISTEMA CONCERTADO DE COMUNICACIONES

El presente proyecto es una tarea conjunta entre el Ministerio de Agricultura y Ganadería y la Municipalidad de Asunción, en donde los tres campos principales de acopio y envío de productos, Informaciones y administración de D.A.M.A., se relacionan orgánicamente. Por consiguiente es imprescindible la implementación de actividades realizando una coordinación entre todas las instituciones y secciones relacionadas y las deliberaciones mutuas en forma conjunta.

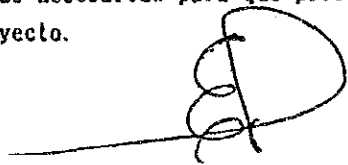

En consideración a lo anteriormente expuesto, es necesario el establecimiento del "CENTRO DE MEJORAMIENTO DE LA COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS", a fin de elevar las funciones de coordinación inter-institucional y de implementación funcional del proyecto, como institución responsable, para la ejecución de los programas establecidos por la Comisión Conjunta, estipulada en el R/D. Y es urgente la necesidad de acelerar trámites requeridos acerca de la forma de administración del "CENTRO" ya citado.

Además, el "CENTRO DE MEJORAMIENTO DE LA COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS" será la institución central para desarrollar las actividades para el mejoramiento de la comercialización de frutas y hortalizas en el Paraguay, incluso luego de terminado el presente proyecto de cooperación. Es muy importante, que las instituciones y personas relacionadas estén enterados de la necesidad de tomar medidas necesarias desde ahora, en consideración al desarrollo del presente proyecto.

2. LOS CONTRAPARTES PARAGUAYOS.

Para un desarrollo autosuficiente de. presente proyecto, es importante que los contrapartes paraguayos tomen la iniciativa en la planificación e implementación de las actividades. Sobre todo, en la segunda mitad del proyecto, en la que los contrapartes relacionados deben desarrollar los trabajos con suficiente consideración sobre lo dicho precedentemente.

En cuanto a los contrapartes paraguayos que en estos momentos se están afirmando en sus posiciones como tales, es deseable que el lado paraguayo considere las medidas necesarias para que prosigan en sus puestos, para el éxito del presente proyecto.

 正水端 

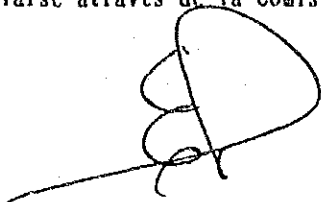
3. MEJORAMIENTO DE LOS CAMINOS

En la zona correspondiente a la Jurisdicción de la Cooperativa Coronel Oviedo existen problemas que afectan el desarrollo del sistema colectivo de acopio y envío de productos, debido al mal estado de los caminos que ocasionan dificultades para el tránsito de camiones, así como la pérdida de calidad de los productos al dañarse la carga.

A fin de mejorar esta situación, es necesaria la reparación de los caminos que se encuentran en el área de operaciones de los camiones recolectores, y es deseable que el lado paraguayo teniendo el presupuesto ya asignado, tome las medidas en forma urgente para su implementación.

4. FORMULACION DE CRONOGRAMA ANUAL DETALLADO DE ACTIVIDADES

Según los 'Temas de Cooperación Técnica' y el 'Contenido de las actividades a realizarse', es necesario formular un cronograma anual detallado de actividades a desarrollarse através de la Comisión Conjunta.



E. H. M.



日本側巡回指導調査団と
パラグアイ側農牧省及びアスンシオン市との
パラグアイ青果物流通改善計画に関する
確認書

1991年3月6日に署名された討議議事録(R/D)に基づき実施中のパラグアイ青果物流通改善計画に関し、プロジェクトの円滑な推進について指導する目的で、国際協力事業団は上水流 忠を団長とする巡回指導調査団を派遣した。

調査団は、1993年8月24日から9月8日までの間、当国に滞在しプロジェクトのこれまでの実施状況について評価するとともに今後の活動内容等についてプロジェクト関係者と一連の協議を行った。

その結果、日本側及びパラグアイ側双方は、附属文書に記載の事項について確認した。

アスンシオン、1993年9月7日

日本国国際協力事業団
巡回指導調査団団長
上水流 忠

アスンシオン市長
Dr. Carlos A
Filizzola P.

パラグアイ国農牧大臣
Ing. Agr. Raul V
Torres S.

附属文書

確認事項

1. 評価結果

プロジェクトの活動計画の項目についてこれまでの活動内容の評価を行ったが、その評価結果は別紙Ⅰのとおりである。

2. 今後の技術協力課題及び活動内容

上記Ⅰの評価結果を踏まえ、プロジェクト期間内における今後の活動内容は別紙Ⅱに基づいて実施することを確認した。

3. 取るべき措置

また、今後のプロジェクトの効果的・効率的な実施のために別紙Ⅲの措置を取ることを確認した。

技術協力課題	活動実績及び評価	課題
<p>4. 市場情報センターを中心としたシステム運用管理の整備とその指導</p>	<p>共同出荷・統一伝票の導入を推進する中で、生産者・卸売業者における流通のかけ橋として情報提供システムが成果を見せ始めている。現在、市場情報センター（SIMA）では国内の主要市場（アズメック、エスエム、エスエム）の取引価格をFAXを通じて取集し、集計結果（市場別・品目別・高値・中値・安値）を全国の14ラジオ局に対して、SIMA及び代表的な卸売業者をモデルとして、ハード・ソフト両面でも重点的に指導を行った。DAMASに対しては情報の精度向上及び利用者の重と質の両面にわたった強化を図っている。2モデル農協では、市況また、FAXで受領する一方、コミケットの推進に貢献している。情報提供を行い、出荷調整・共同集出荷の情報であり、共同集出荷の情報提供し、現在の情報は必要情報も必要である。</p>	<p>1) 取集・分析・提供項目の多様化 各卸売業者の各段階において将来の流通改善に必要となる情報を収集・分析・加工し、時期・場所・方法を考慮した提供を行う必要がある。 2) 情報に対する信頼性の向上 取集し提供される情報の信頼性を高めるよう指導する。 3) 生産者等を意識した情報提供手段の推進 流通改善に資するよう、モデル農協の生産者及び卸売市場関係者に対して現状・ニーズに即したきめ細かい指導を行う。</p>
<p>5. 中央卸売市場の青果部門に関する運営の改善指導</p>	<p>DAMASにおいては1110社の卸売業者が存在しているが、販路網を拡大し、市場運賃全体の改善を図るため、統一伝票の導入を推進し、市場運賃全体の改善を図る。主な活動内容は、①統一伝票の導入の導入の促進のため卸売業者（116）を対象とした導入テストの実施（93年8月～）、②卸売業者の競争による入荷量把握、及び内容を充実させた提供（卸売業者の把握）、③入手した市場情報に基づき、更に精度の高い市場情報収集・分析・提供、公正な取引の確保等のために、統一伝票の導入定着化について一層の促進指導を行う必要がある。</p>	<p>共同集出荷及び卸売市場の運営改善に資するため、モデル卸売業者を主たる対象として次の事項について指導を行う。 1) 統一伝票の導入定着化の促進と精度の高い市場情報の提供について検討する。 2) モデル卸売業者の選定と共同集出荷品の有利販売が可能となる条件整備を検討する。 3) 計画的生産・集出荷を実行するためモデル卸売業者とモデル農協の協議について指導する。 4) 精度の高い情報のあり方を検討する。 5) 販売代金の決済期間の短縮化、業務規程の遵守指導を行う。</p>